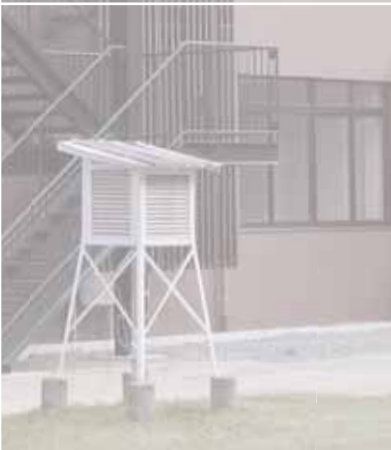


# 香川大学博物館

## 8年間の歩み

2016.3



香川大学博物館が四国初の大学博物館として2008年に開館してから8年になります。この間、学内外からのご支援とご協力を得て行った多くの活動をこの要覧「8年間の歩み」でご紹介しています。近年では、ウェブサイトに加え、フェイスブックなどのSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）が情報発信手段として用いられ、本館でも度々発信していますが、冊子体には全体を俯瞰できる利点があります。これは、ネットショッピングでどこからでも本や雑誌を選んで入手できるようになった今でも、書店でタイトルや帯を見ながら本や雑誌を選ぶ行為と似ています。一方、書店では本離れを受けて、新しい形態の複合書店に変わるところも少なくありません。大学においても図書館の役割は変容しつつあり、閲覧スペースを縮小して、アカデミックコモンズと呼ばれるグループ学習や成果発表などのイベントができるゾーンを備えるところが多くなってきています。

日本の大学は、大学設置基準で図書館の設置が義務付けられていますが、博物館の設置は義務付けられていません。1995年に学術審議会から、大学にユニバーシティ・ミュージアムを設置して、学術標本の多面的活用を図ることが提言され、いくつかの大学で省令施設として設置されました。国立大学の法人化後には、大学独自で大学博物館が設置され、本館もその一つです。大学における知的情報発信拠点や地域における生涯学習の場として、学校や他の博物館等との連携を進めてきています。生物の分類におけるタイプ標本と呼ばれる新たな種の学名として指定された標本を有しているわけではありませんが、学内外から貴重な標本資料が多数集まってきています。しかし、それらを収蔵するスペースが不足しつつあり、標本資料を有効に活用して展示するスペースも現有施設だけでは不十分です。そこで、その打開策としてモバイルミュージアムを試み、さらに学内の既存施設の有効利用を模索しているところです。

2年後の2018年には、開館10周年の大きな節目を迎えます。それまでに次のステップに進めるか、どのように変容することができるかによって、大学に必ずしも設置が義務付けられていない大学博物館の存在意義が明らかになると考えています。



香川大学博物館長  
寺林 優

## 入館者数・主な団体

年度	2008(平成20)	2009(平成21)	2010(平成22)	2011(平成23)
入館者数 (利用者数)	3,927人 (4,016人)	2,249人 (2,249人)	2,473人 (2,524人)	12,143人 (12,252人)
開館日数	210日	228日	215日	211日
香川大学 関係	教育学部：授業「社会教育課題研究Ⅱ」、同窓会連合会：ホームカミングデー	全学共通：実験「地学P」、教養ゼミナール「街の化石と岩石」、経済学部：授業「観光地理学」、工学部：授業「数理演習Ⅱ」、地学サロン	全学共通：教養ゼミナール「街の化石と岩石」、生涯学習教育研究センター：公開講座「讃岐ジオサイト探訪」、同窓会連合会：ホームカミングデー	全学共通（夜間主コース）：授業「地学」、経済学部：授業「演習」、工学部・農学部：教職「地学実験」
学校・ PTA等	香川県立高松東高等学校、香川県立高松南高等学校、香川県立香川中央高等学校、香川県立琴平高等学校、岡山龍谷高等学校、香川大学教育学部附属坂出中学校、高松市立亀阜小学校、香川大学教育学部附属特別支援学校、讃岐学園、西春日保育所児童保育	香川県立三本松高等学校、香川県立三木高等学校、香川県立高松南高等学校、香川県立香川中央高等学校、香川県立琴平高等学校、香川県立高瀬高等学校、香川大学教育学部附属高松中学校、香川大学教育学部附属高松小学校、二番丁幼稚園	和歌山大学、香川県立三木高等学校、香川県立香川中央高等学校、高松市立桜町中学校、高松市立亀阜小学校、香川県立高松養護学校、香川大学教育学部附属特別支援学校、岡山県立笠岡商業高等学校PTA、鳥取中央育英高等学校PTA	埼玉大学教育学部、高松市立高松第一高等学校、高松市立紫雲中学校、高松市立亀阜小学校、高松市立新番丁小学校、香川大学教育学部附属高松小学校
その他	三木町文化財保護協会、三豊市消費者友の会、第1回日本地学オリンピック	コズミックカレッジ2009、第2回日本地学オリンピック	和歌山市立博物館	宇宙少年団香川小惑星分団

年度	2012(平成24)	2013(平成25)	2014(平成26)	2015(平成27)※2/29現在
入館者数 (利用者数)	5,510人 (5,570人)	3,513人 (3,726人)	2,911人 (3,416人)	2,724人 (3,277人)
開館日数	213日	211日	218日	179日
香川大学 関係	全学共通：授業「地学G」、「歴史学A」、経済学部：授業「観光資源論」、「演習」、同窓会連合会：ホームカミングデー	全学共通：授業「地学A」、「Communicative EnglishⅣ」	全学共通：授業「地学A」、実験「地学P」、工学部・農学部：教職「地学実験」	全学共通：主題「生命と環境」、授業「地学A」、実験「地学P」、工学部・農学部：教職「地学実験」
学校・ PTA等	名古屋工業大学、香川県立三木高等学校、香川県立高松南高等学校、香川県立香川中央高等学校、香川県立丸亀高等学校、香川県立善通寺第一高等学校、香川県立高瀬高等学校、香川県立藤井高等学校、広島県立尾道北高等学校、高松市立扇町保育所	山口大学、香川県立高松南高等学校、香川県立高松東高等学校、香川県立善通寺第一高等学校、岡山県立美作高等学校、香川大学教育学部附属高松小学校、愛媛県立大洲高等学校PTA	香川県立三本松高等学校、香川県立高松東高等学校、香川県立香川中央高等学校、香川県立高松商業高等学校、香川県立高松高等学校、香川県立高松西高等学校、香川県立丸亀高等学校、徳島県立池田高等学校、岡山県立美作高等学校、高松市立桜町中学校、高松市立下笠居小学校	香川県立桜井高等学校、香川県立高松西高等学校、香川県立丸亀高等学校、香川県立善通寺第一高等学校、徳島県立池田高等学校、徳島県立脇町高等学校、岡山県立玉野高等学校、岡山県立笠岡商業高等学校、兵庫県立芦屋高等学校、香川大学教育学部附属特別支援学校、高松市立扇町保育所、鳥取県立米子高等学校PTA
その他	コズミックカレッジ2012、名古屋科学館、どいりみんぐアカデミー、扇町保育所	高瀬大学（三豊市市民大学）、SPOD次世代養成ゼミナール、財田町自然観察同好会、宇宙少年団香川小惑星分団	第55回中国四国地区大学図書館研究集会	第8回日本地学オリンピック



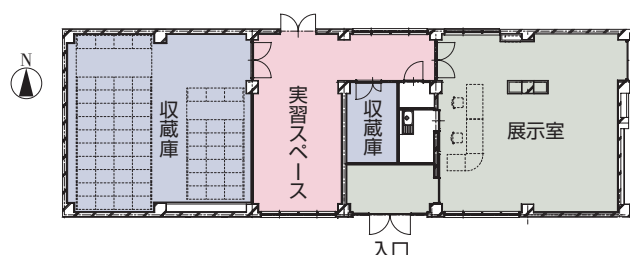
## 理念と目標

香川大学博物館は、香川大学と地域との連携を文化面から深めるために以下のような理念と目標を持って設置されました。

1. 香川大学の教育・研究において蓄積された数万点に及ぶ標本・資料・発明品などの知的財産の収集・保管・研究活動に重点を置く。
2. 香川大学における教育・研究の成果を活かし、地域の自然や文化を研究する市民研究者や郷土史家、小中高の教員、学芸員、サイエンスボランティアなどの研修や交流の場としての「教育・研究型」博物館。
3. 香川大学の教職員がその専門的な知識や経験を生かして、香川県全域に展開するさまざまな博物館・資料館、及び歴史、地理、生物、地学、科学などに関する研究団体などの研究活動を支援する「地域密着型」博物館。

## 施設

香川大学博物館は、香川大学幸町北キャンパス幸町北1号館の1階にあり、展示室、収蔵庫、実習スペースを備え、延床面積約250㎡です。



## 活動

### 1. 収集・保存

香川大学の全ての学部、各学科、各研究室などに所蔵されている標本・資料のリストを作成しウェブサイトで公開する。大学の教育・研究活動によって増加する標本・資料を収集・保管する。さらに学外から寄贈・寄託される標本・資料を積極的に受託する。



### 2. 展示・交流

博物館の基本的性格を示す常設展のほか、学内の教育研究成果や、大学博物館と学外のさまざまな個人、団体との協力によって多様な企画展を開催する。

### 3. 教育・普及

「モノ」を通して、真理を学ぶ生涯学習の場を提供する。本学教職員や学外協力員をミュージアム・アドバイザーとして、学生や学外の個人、団体が共に研究し、学ぶ「協育」を基本とする。多彩なテーマのミュージアム・レクチャーを開講する。企画展のテーマにあわせた公開講座を香川大学生涯学習教育研究センターと協力して開講する。



### 〈高松高等商業学校〉

#### 1928(昭和3)年

9月12日 御大典奉祝事業として商業博物館の設置が決定

#### 1929(昭和4)年

4月26日 商業博物館規定、および主事1名と委員11名が決定  
5月9日～12日 第1回臨時展覧会開催(出品総数1,663点)

### 〈香川県師範学校〉

#### 1930(昭和5)年

文部省より郷土研究施設費が交付される  
→「郷土室」開設

#### 1933(昭和8)年

10月 「郷土館施設概要」刊行

### 〈香川県女子師範学校〉

#### 1930(昭和5)年

8月 文部省より郷土研究施設費が交付される  
→「郷土研究室」開設

#### 1933(昭和8)年

3月 郷土研究室新設(手狭になったため)  
9月 「郷土室施設概要並に目録」刊行

### 1949(昭和24)年

香川大学が発足(経済学部・学芸学部)

### 1955(昭和30)年

農学部設置(香川県立農科大学が移管)

### 1956(昭和31)年

神原文庫の寄贈

### 1966(昭和41)年

学芸学部が教育学部に改称

### 1978(昭和53)年

香川医科大学開学

### 1981(昭和56)年

法学部設置

### 1997(平成9)年

工学部設置

### 2003(平成15)年

旧香川大学と香川医科大学が統合し、新しい香川大学が発足

### 2005(平成17)年

- 1月 木村好次学長の指示で大学博物館設置に関する研究会が発足
- 3月 「香川大学『大学博物館(仮称)』設置趣旨」が役員会で承認
- 5月 平成17年度学長裁量経費「大学博物館(仮称)設置計画に関する調査・研究」のため香川大学博物館研究機構が発足(代表 岡野 眞工学部教授)
- 10月 国立大学博物館等協議会にオブザーバー加盟

### 2006(平成18)年

- 3月 名誉教授座談会「大学博物館について」開催
- 4月 博物館委員会が発足
- 6月 国立大学大学博物館等協議会に加入
- 12月 「香川大学『大学博物館』設置計画書」が役員会で審議され、「香川大学博物館」として平成19年4月1日付けで設置することが承認

### 2007(平成19)年

- 1月 第1回学外特別展「香川大学のあしあと」開催
- 4月 図書館・情報機構内に「博物館」設置

### 2008(平成20)年

- 1月 第2回学外特別展「かがわの里山」、公開シンポジウム「大学の資源を地域の教育に生かす～大学博物館の目指すもの～」開催
- 3月 博物館の竣工
- 4月 ウェブサイトの公開・一般公開開始(24日)

## 常設展示

### 教育学部

**国分台遺跡の  
含火山灰土と旧石器**  
(坂東祐司先生からの贈り物)



### 教育学部

**北投石**  
(中華民国台北市北投温泉)



### 教育学部

**瀬戸内海産貝類標本**  
(畠山祥一郎コレクション)



### 法学部

**英國単語圖解  
市川央坡2巻明治5〜7刊**  
(香川大学神原文庫)



### 経済学部

**弥生土器**  
(農学部遺跡・約2300年前)



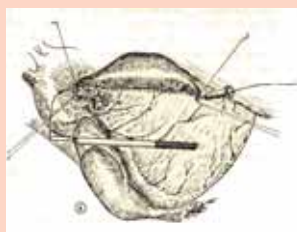
### 経済学部

**足跡剥ぎ取り標本**  
(農学部遺跡・奈良時代末期)



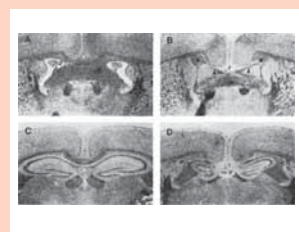
### 医学部

**ワイヤーガイドナイフ**  
(心臓血管手術用メス)



### 医学部

**脳梁欠損マウス**  
(回避学習用の実験動物)



### 工学部

**摩擦試験機**  
(昭和49年製)



### 工学部

**香川発超小型人工衛星**  
(2009年打上げKUKAIの模型)



### 工学部

**岩石**  
(世界最古の岩石など)



### 工学部

**長尾断層剥ぎ取り標本**  
(香川県三木町氷上)



### 農学部

**香川の昆虫今昔**  
(里山の生物相の変遷)



### 農学部

**香川大学オリジナルワイン  
ソヴァージュヌ・サヴルーズ**  
(農学部交配品種「香大農R-1」使用)



### 農学部

**酒米「さぬきよいまい」**  
(1990年から農学部で  
育種がスタート)



### 農学部

**希少糖**  
(自然界での存在量が少ない  
糖の大量生産に成功)





## コレクション

### 岩崎コレクション

徳島大学名誉教授の岩崎正夫氏によって、国内外で採取された岩石鉱物標本コレクション。

岩崎氏は、1922年生まれ、1945年旅順工科大学卒業、同年同大学講師、戦後引き上げ後に東京大学大学院で学び、1953年徳島大学学芸学部助手、1955年講師、1962年助教授、1971年教育学部教授、1985年総合科学部教授、1998年に退職し徳島大学名誉教授。1994年から岩崎地質研究所所長。1988年から1994年まで応用地質株式会社技術顧問、1996年4月から2006年3月までラピス大歩危石の博物館館長を務められました。1962年2月に東京大学から理学博士の学位を授与、2006年に日本岩石鉱物鉱床学会渡邊萬次郎賞を受賞されるなどされています。岩崎氏は、変成岩岩石学および地域地質学の分野を中心に活躍され、重要な論文を国内誌と国際誌に数多く発表されました。1960年代後半には、海洋地殻から上部マントルにかけての連続した層序がみられる岩体であるオフィオライトの重要性に着目し、四国の三波川帯低温部に分布する御荷鉾帯の研究を行い、プレートテクトニクスに基づく日本列島形成史の構築に重要な貢献をされました。岩崎コレクションは、変成岩、火成岩、堆積岩に加え、多種の鉱物および鉱石の結晶などからなり、「もろぶた」300箱以上にも及びます。岩崎氏が世界各地で収集した貴重なコレクションに対しては、他の大学博物館などから受け入れの申し出があったようですが、岩崎氏から本館に寄贈の申し出があって受け入れを決定し、2012年に受け入れを開始し、データベース化を進めています。

### 佐藤コレクション

栗林公園の東側にあった栗林公園動物園（1930年開園、2002年休園、2004年閉鎖）元鳥類研究員の佐藤 勤氏（1932-2014）によって製作された剥製標本コレクション。



佐藤氏は、三木町文化協会剥製部会会長として、同会会員らと剥製の製作技術を研鑽されました。1976年には、剥製会館の建設を計画し、その後自宅敷地内に建設されるに至りました。佐藤コレクションは、鳥類を中心として、哺乳類、爬虫類など総数700点以上にも及びます。ほとんどが本剥製と呼ばれる標本で、動物たちが生きていたときのもっとも美しかった姿を再現し、動物たちが生きていた証の一コマを観察できるように製作されています。現在では収集が困難な種の標本も多数含まれており、学術的にも極めて価値の高いものです。晩年、コレクションの保存を考慮して佐藤氏から寄贈の打診があり、その後、ご遺族から寄贈の申し出があって受け入れを決定し、2014年から受け入れを開始し、データベース化を進めています。希少種の受け入れに際しては、「絶滅のある野生動植物の種の保存に関する法律」（種の保存法）で定められた措置に従い、環境省に届け出を行っています。



## データベース

学術標本資料の情報を一元的に管理し、学内の教職員や学生はもとより、学外の方々も情報を利用できるようなデータベースの構築をめざして整備を進めています。現時点では、登録・収蔵標本の概要についてウェブサイト上で紹介するとともに、農学部保管されている1960年代に採集された昆虫標本（松沢コレクション）を中心とした所蔵標本のデータベースを作成中です。これまでに1,841個体の標本が整理されていますが、まだ膨大な量の標本が未整理のままです。今後は、2001年に活動が始まった国際科学プロジェクトであるGBIF（Global Biodiversity Information Facility＝地球規模生物多様性情報機構）にも利用可能な形式のデータベース化をすすめるとともに、自然科学系の標本のうち、まとまったコレクションについては、データベース化を進め、順次公開します。

松沢コレクションの一部

	オオミドリシジミ		シータテハ
	香川県三木町		香川県三木町
	1958年6月5日		1958年8月6日
	Saekusa, K		Saekusa, K
香川県では準絶滅危惧種に指定されており、近年三木町周辺では見ることはまれ。		西南日本で近年ほとんど記録がなく、各県で絶滅種とされている。香川県でも1980年代を最後に記録が途絶えている。	

香川大学博物館のウェブサイトでは、標本資料のデータベースに加え、これまでに開催した「学外特別展」と「企画展」の展示パネル等も公開しています。

## モバイルミュージアム

博物館の所蔵標本をテーマごとにパッケージ化し、香川大学のサテライトオフィス、小中学校の空き教室、廃校舎等を活用して展示し、レクチャーや体験教室を合わせて開催するという計画です。モバイルミュージアムを通して、児童生徒や一般市民の特に自然史に対する理解を深めることを目的とします。さらに、高等学校の理系クラスや自然科学部の生徒を対象に、講義、野外実習および成果報告会を行います。これらを通じて、将来地元の自然に関する活動に携わる人材養成することを目指しています。

モバイルミュージアムの試みとして、財田町自然観察同好会の協力で三豊市財田町公民館で展示を行い、アンケートおよびインタビュー調査を実施しました。

2015（平成27）年1月7日～4月12日

「財田町に生息する哺乳類と鳥類」

2015（平成27）年6月1日～8月31日

「アリの世界」

2015（平成27）年12月11日～2016（平成28）年3月31日

「カメの世界」

また、博物館の所蔵標本をトランクキットとして持ち出すことで、児童や生徒が授業で学んだことを標本で確かめることが可能になります。2015（平成27）年4月28日～5月まで、香川大学農学部遺跡出土の弥生時代土器（つぼ）1点、石器（石包丁）1点を高松市立新番丁小学校に貸し出し、6年生の学習で活用されました。





## 特別展

### サヌカイト標本展示開始記念式典

年月日：2005年7月11日(月)  
会 場：香川大学工学部3号館1階エントランスホール  
内 容：工学部創設時に前田聖一氏より寄贈された  
サヌカイトの標本を展示



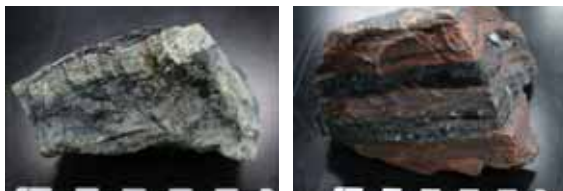
### 木村好次学長退任記念特別展

期 間：2005年9月20日(火)～11月3日(木)  
会 場：香川大学工学部3号館1階エントランスホール  
内 容：木村好次学長の研究業績に対して贈られた  
トライボロジーゴールドメダルに関する展示

### 緊急展示

#### 「アスベスト問題(1) アスベストとは何か」

年月日：2005年11月3日(木)  
会 場：香川大学工学部2号館1階  
内 容：工学部オープンキャンパスでアスベスト原石を展示



### The Wonder Box

#### ユニヴァーシティ・ミュージアム合同展

期 間：2006年11月4日(土)～12月17日(日)  
会 場：東京藝術大学大学美術館  
内 容：「会話する足跡－香川大学農学部遺跡」を出品

#### ■2007年度香川大学公開シンポジウム

#### 大学の資源を地域の教育に生かす ～大学博物館の目指すもの～

年月日：2008年1月24日(木)  
講 師：林 良博(東京大学総合研究博物館長)  
田井静明(香川県歴史博物館主任専門職員)  
丹羽佑一(香川大学博物館長、香川大学経済学部教授)  
清國祐二(香川大学生涯学習教育研究センター長)  
会 場：高松市生涯学習センターまなびCAN 多目的ホール  
参加者：80名  
主 催：香川大学生涯学習教育研究センター  
共 催：香川大学博物館

### 第1回学外特別展「香川大学のあしあと」

期 間：2007年1月23日(火)～28日(日)  
会 場：ヨンデンプラザ高松1階ギャラリー  
入場者：911名



### 第2回学外特別展「かがわの里山」

期 間：2008年1月22日(火)～27日(日)  
会 場：ヨンデンプラザ高松1階ギャラリー  
入場者：507名



開館  
5周年記念  
特別展

## フクイサウルスがやってきた！～骨から学ぶ生物進化～

期 間：2013年3月7日(木)～4月7日(日)

入場者：2,185名

2013年4月に開館5周年を迎えるにあたって特別展を開催し、福井県立恐竜博物館の協力でフクイサウルス・テトリエンシスとフクイラプトル・キタダニエンシスの復元全身骨格標本、株式会社日本ドルフィンセンターの協力でスナメリの骨格標本、本館所蔵のヒト、黒毛和牛、ネコ、ニワトリ等の骨格標本を展示



後 援：社団法人香川県獣医師会

協 力：福井県立恐竜博物館、株式会社日本ドルフィンセンター

協 賛：株式会社桜製作所、近藤電子株式会社、太洋物産株式会社、株式会社成豊堂、株式会社レアスウィート

第26回  
ミュージアム  
レクチャー

### 「骨付き鳥の恐竜学」

年月日：2013年3月16日(土)

講 師：松本由樹(特別展実行委員、農学研究院准教授)

会 場：香川大学博物館

参加者：33名



第27回  
ミュージアム  
レクチャー

### 「クジラの祖先は4本足で陸上を歩いていた」

年月日：2013年3月28日(木)

講 師：石川 創(公益財団法人下関海洋アカデミー鯨類研究室室長)

寺山弘樹(株式会社日本ドルフィンセンター代表取締役社長)

会 場：e-とぴあ・かがわ 5階 BBスクエア

参加者：60名

骨付き鳥の恐竜学



クジラの祖先は4本足で陸上を歩いていた

特別展

## 時代を駆け抜けた銀塩カメラ—フィルムカメラ40台の展示—

期 間：2014年3月7日(金)～3月29日(土)

入場者：259名

露出計がカメラに搭載される1960年以前のカメラから、マイクロコンピュータが搭載されてシャッター速度や絞り設定の自動化が進んだ1980年後までのフィルムカメラ(銀塩カメラ)約40台を展示。ヒューマン・マシン・インターフェイスに関わる分野の研究者の個人所蔵品の一部。いずれもベストセラーの機種で記憶にあるカメラも少なくなく、どのカメラも自身でオーバーホールしており、フィルムを通せば撮影できる状態。「北欧のキオク」と題して、撮りためてきたスウェーデンを中心とする北欧の写真に合わせて展示し、街並みの美しさ、生活の豊かさランキング第2位のライフスタイルを紹介



協 力：鈴木桂輔(香川大学工学部准教授)

特別  
講演会

### 「3D and Finland」

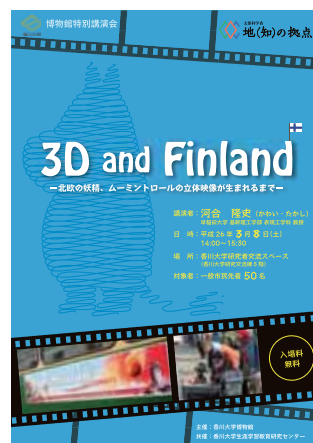
—北欧の妖精、ムーミントロールの立体映像が生まれるまで—

年月日：2015年3月8日(土)

講 師：河合隆史(早稲田大学基幹理工学部表現工学科教授)

会 場：香川大学研究交流棟 5階 研究者交流スペース

参加者：30名





## 特別展

## 教授を魅了した大地の結晶—北川隆司 鉱物コレクション—

期 間：2014年10月1日(水)～11月3日(月)

入場者：820名

故 北川隆司 広島大学教授 (1949-2009) は、粘土鉱物を主な研究テーマとし、鉱物学の基礎から地震・災害・環境問題までを広く研究。一方で熱心な鉱物収集家で、野外調査などで世界各地におもむき、その生涯にわたって収集した専門性と趣味性を兼ね備えた鉱物コレクション約2,000点の中から、色・輝き・結晶の形などが美しく自然の造形を感じることができる選抜された標本約200点を北川ふさえ様と北川研究室卒業生によるご協力で展示。世界結晶年 (IYC2014) の趣旨に賛同して実施

共 催：日本鉱物科学会、日本粘土学会、日本結晶学会  
協 力：国立科学博物館



第35回  
ミュージアム  
レクチャー

## 「教授を魅了した大地の結晶 ミュージアム・トーク」

年月日：2014年10月4日(土)・18日(土)

講 師：谷山 穰 (香川大学名誉教授)

会 場：香川大学博物館展示室

参加者：1日目 18名

2日目 22名



## 特別展

## 神原文庫で見る幕末・明治の食文化と西洋文明

期 間：2016年3月11日(金)～3月26日(土)

「日本の夜明け」と称される幕末から明治の世への時の変化は、日本人の生活を急速に西洋化へと誘いました。明治期における我が国の西洋文明(金融、事業、商習慣、教育、食文化、衣装、街並み)の変容を見るために、本展示では旧香川大学初代学長・神原甚造先生が残された明治時代の資料を豊富に有している神原文庫から明治の世の中を垣間見れる「食文化」や「時代背景」に関する資料を展示。明治後期から昭和初期にかけて一般に普及した、代表的な西洋家庭料理のレシピを揃えて展示

主 催：香川大学図書館

共 催：香川大学博物館

協 力：加藤みゆき (香川大学教育学部教授)



## トマト入りオムレツ (オムレット・オウ・トマト)

材 料 (5人前)

玉子……………10個  
牛乳……………90ml (5勺)  
パセリ……………10本  
バター……………大2 (10匁)  
トマト・ケチャップ…大5  
塩……………小1  
コショウ……………小1  
味の素……………少々

トマト

- ① 赤く熟したトマトの薄皮を剥き、横に2つに切り、軽くつかんで種を絞りだし、果肉を2分角位のさいの目切りに切っておく。トマトの皮を容易に剥くには、熱湯の中に1分間浸すか上から熱湯を2回くらいかけると良く剥けます。
- ② パセリは微塵切りにしておきます。
- ③ 鉢に玉子を割り、これに、牛乳90ml、塩小1、こしょう小1、味の素 耳かき3杯くらいを入れて、よくかき混ぜて玉子汁を作っておきます。

- ① きれいに拭いたフライパンにバター小1位を入れて火にかけ、よく溶けたところへ玉子汁をお玉杓子に2杯 (玉子2個分くらい) を入れ、トマトと刻みパセリとを5分の1程手早く平らに散らして加え混ぜ、玉子が半熟になったころ2つに折り返してふっくらと焼き上げて皿に取ります。
- ② 次に小1のバターを溶かして前のように焼きます。
- ③ 西洋皿に盛り、トマト・ケチャップ大1を添えて、パセリを飾って温かいところを勧めます。



## 第1回 企画展

### ウズベキスタンの現代建築と世界遺産

期 間：2008年6月3日(火)～28日(土)

入場者：475名

中央アジアの中核をしめるウズベキスタンは、シルクロードの中核をしめていた。首都タシケントと世界遺産に登録されているブラハ、ヒヴァ、サマルカンド、シャフリサールの5つのオアシス都市ご

とに、現代建築と伝統的建築のパネルを展示。生活空間をいろどる小物類(スザニ、絹織物、土人形、陶器、装飾小物、細密画など)を展示

共 催：ウズベキスタン文化・芸術フォーラム基金駐日代表部、世界麺フェスタ2008 in さぬき実行委員会  
協 力：キュレイトーグ(東京)、中央アジアユーラシアクラブ(群馬)



#### 特別 講演会

#### 「シルクロードの国々の現状 ～独立後の経済開発～」

年月日：2008年6月13日(金)

講 師：田中哲二(中央アジア・コーカサス研究所副理事長兼所長、国連大学学長上級顧問)

会 場：香川大学研究交流棟5階 研究者交流スペース

参加者：89名

共 催：放送大学香川学習センター、香川大学経済学部



特別講演会

#### 講演会

#### 「ウズベキスタンの現代建築と装飾的建築」

年月日：2008年6月14日(土)

講 師：岡野 眞(企画展実行委員会委員長、工学部教授)

会 場：香川大学研究交流棟6階 生涯学習教育研究センター講義室

参加者：講演会 53名・ミュージアムトーク 20名



講演会

## 第2回 企画展

### 昆虫のふしぎ

期 間：2008年7月23日(水)～9月20日(土)

入場者：1,302名

香川県立農業専門学校(香川大学農学部的前身)昆虫学教室の初代教授岩田久二博士が研究した香川県の昆虫、香川県の87種のアリ、三木町白山のチョウ、オリーブの宿敵・オリーブアナアキ

ゾウムシ、クヌギなどの樹液をめぐる昆虫類を展示。昆虫のふしぎ(性的二型と性淘汰、擬態、ふしぎな形・美しい色、個体変異・地理的変異・種分化へ)に関する標本を展示。

大屋 崇博士(三豊総合病院元副院長)のトリパネアゲハコレクションを特別展示

共 催：香川大学農学部

協 力：大屋 崇 博士



#### 公開 講座

#### 「『モノ』の見方 ～研究はじめての第一歩～」

年月日：2008年7月23日(水)・24日(木)・25日(金)

講 師：安井行雄(企画展実行委員会委員長、農学部准教授)

寺林 優(博物館副館長、工学部准教授)

丹羽佑一(博物館長、経済学部教授)

会 場：香川大学博物館実習スペース

参加者：1日目(昆虫標本)28名

2日目(化石)26名

3日目(石器・土器)25名





第3回  
企画展

## 瀬戸内の海・干潟・海浜の生き物

期 間：2009年7月23日(木)～8月29日(土) 入場者：578名

瀬戸内の海中と海辺の様子を探る展示。「海」瀬戸内海を支えているのはとても小さな生き物たち。これらの微小生物や香川大学工学部で開発された人工漁礁等を展示。「干潟」海でもあり、陸でもある干潟に生息する生物を展示。「海浜」高温や乾燥、海水による塩害など、生物にとってはたいへん厳しい環境のため、生物の多様性は決して高くはないが、このような場所でしか見ることができない海浜植物や昆虫等を展示

共 催：香川大学瀬戸内圏研究センター

協 力：株式会社日本ドルフィンセンター、NPO法人日本ドルフィンセラピー協会

公開  
講座

## 「海岸の砂浜や海にすんでいる生物を調べよう」

年月日：2009年8月4日(火)・5日(水)・6日(木)

講 師：伊藤文紀(企画展実行委員会委員長、博物館副館長、農学部教授)

末永慶寛(工学部教授)

松本一範(教育学部准教授)

会 場：香川大学博物館実習スペース

参加者：1日目(干潟にすむ生物)23名

2日目(海の特徴と魚の性質に応じた魚礁)23名

3日目(魚の性の不思議)25名

第4回  
企画展

## 瀬戸内今昔観光遊覧

期 間：2009年10月31日(土)～11月28日(土) 入場者：478名

旧石器時代から弥生時代までの石器・石材中、西日本で最も広く用いられた香川県の名産サヌカイト。古代瀬戸内海域に広く流通したのは何故か、坂出市金山の発掘出土品を展示して紹介。

1934(昭和9)年に指定された日本で最初の国立公園のひとつが瀬戸内国立公園。当時の瀬戸内海の景観を示す珍しい資料を展示。遠藤亮氏の新発見大阪城残念石、さぬき市教育委員会の調査による大串半島の中世石切場の資料も特別展示

共 催：香川大学瀬戸内圏研究センター

協 力：香川大学生涯学習教育研究センター

第6回  
ミュージアム  
レクチャー

## 「瀬戸内今昔観光遊覧」

年月日：2009年11月14日(土)

講 師：稲田道彦(企画展実行委員会委員長、経済学部教授)

丹羽佑一(博物館長、経済学部教授)

会 場：香川大学博物館展示室

参加者：30名



## 第5回 企画展

### アリの世界「〇〇してみる」研究室

期 間：2010年7月23日(金)～8月28日(土) 入場者：1,081名

「比べて見る」日本や外国にはたくさんの種類のアリがいます。体のようすを比べてみよう。「よく見てみる」顕微鏡やルーペで拡大して、アリの体を知ろう。「のぞいてみる」アリの巣の中はどうなっているのかな。アリはどんな動きをしているだろう。飼い方も紹介します。「食べてみる」日本や世界にはアリを食べるところもあるんだって!!ほんとかなあ…!?!「匂ってみる」アリはいろんなにおいを出しているらしいよ。「採ってみる」アリを研究する方法や、採集する道具を紹介



協 力：山根正気・中村京平(鹿児島大学)、鹿児島大学総合研究博物館、  
江口克之(長崎大学)、香川大学農学部昆虫学教室

#### 公開 講座

#### 「アリのとり方、飼い方、調べ方」

年月日：2010年7月28日(水)・29日(木)

講 師：伊藤文紀(企画展実行委員会委員長、博物館副館長、農学部教授)

会 場：香川大学博物館実習スペース

参加者：1日目 22名

2日目 22名



## 第6回 企画展

### 四国遍路が残した資料

期 間：2010年10月26日(火)～11月27日(土) 入場者：648名

四国霊場八十八ヶ所を巡礼する四国遍路の歴史をたどる資料を展示。遍路地図、「四国偏禮道指南」などの道案内にあたるガイドブック、四国の霊場を廻った遍路の納経帳などを展示。そ

のほかに納め札や旅手形、道具類等、江戸時代から昭和初期までの時代の変化で翻弄された遍路の姿が浮き彫りになる資料330点ほどを展示



#### 第14回 ミュージアム レクチャー

#### 「四国遍路が残した資料」

年月日：2010年11月20日(土)

講 師：稲田道彦(企画展実行委員会委員長、経済学部教授)

会 場：香川大学博物館展示室

参加者：53名





第7回  
企画展

## おいしいお肉の向こうには…

期 間：2011年7月22日(金)～8月27日(土)

入場者：1,010名

身近な食材である“ニワトリ”を取り上げ、鶏肉価格が決定する本当の理由を広く知ってもらうことを目的として開催。鶏肉や鶏卵生産の裏側にある農家・研究者の工夫や苦勞について、「鶏の種類」、「鶏を育てる環境」、「鶏の健康を守るために」などのコーナーで紹介。動物の品種・飼料・飼育環境といった価格変動の主要因について説明し、香川大農学部で取り組んでいる研究内容と連携させて展示

協 力：都築政起・岡孝夫(広島大学)、長坂直比路(高知県畜産試験場)、(社)中央畜産会、(社)日本科学飼料協会、(社)アメリカ穀物協会

公開  
講座

## 「たまごが先か？ニワトリが先か？育て方で決まります」

年月日：2011年7月23日(土)・26日(金)・28日(木)

講 師：松本由樹(企画展実行委員会委員長、農学研究院助教)

都築政起(広島大学大学院生物圏科学研究科教授、日本鶏資源開発プロジェクト研究センター長)

長坂直比路(高知県畜産試験場中小家畜課長)

会 場：香川大学博物館実習スペース・展示室・博物館前スペース

参加者：1日目・2日目(「鶏を育てる」ということ)7名

3日目(「鶏を食べる」ということ)8名

第8回  
企画展

## 小惑星探査機「はやぶさ」帰還カプセル展

期 間：2011年10月20日(木)～10月24日(月)

入場者：10,445名

小惑星探査機「はやぶさ」帰還カプセルのインストルメントモジュール、搭載電子機器部、背面ヒートシールド、パラシュートの実物等、香川衛星開発プロジェクトの超小型人工衛星の模型等、NPO たけとよ・武豊はやぶさ実行委員会の「はやぶさ」実物大模型、高松市市民文化センター所蔵の国分寺隕石や本館所蔵のアエンデ隕石、鉄隕石や地球最古岩石等を展示

共 催：財団法人日本宇宙少年団香川小惑星分団、かがわ源内ネットワーク

協 力：独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)、香川衛星開発プロジェクト、NPO たけとよ・武豊はやぶさ実行委員会

後 援：香川県教育委員会、高松市教育委員会

協 賛：株式会社STNet、株式会社香川サイエンス、株式会社桜製作所、太洋物産株式会社、株式会社成豊堂、株式会社日進機械、株式会社美巧社、株式会社レアスウィート

助 成：一般財団法人百十四銀行学術文化振興財団

特別  
講演会

## 『「はやぶさ」から「はやぶさ2」へ』

講 師：吉川 真(「はやぶさ2」プロジェクトマネージャ)

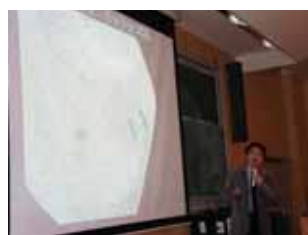
## 『「イトカワ」から探る太陽系の起源』

講 師：塚本尚義(北海道大学大学院教授)

年月日：2011年10月22日(土)

会 場：香川大学幸町北キャンパス 415教室

参加者：361名以上



「はやぶさ」から「はやぶさ2」へ



「イトカワ」から探る太陽系の起源

## 第9回 企画展

### ジオの世界

期 間：2012年7月19日(木)～9月1日(土)

入場者：1,867名

「地球の歴史」、「鉱物の世界」、「火を噴く大地」、「ゆれる大地」のテーマに沿った展示の他、「香川県の化石」、「極域の岩石」(南極の岩石、エベレスト山頂の岩石、深海底の鉱床)、「讃岐ジオサイト」等を展示。体験教室「作ってみよう！化石レプリカ①(アンモナイト)」、「作ってみよう！化石レプリカ②(三葉虫)」、「【博物館で自由研究】実験してみよう！火山岩と深成岩のちがいを」、「探してみよう！砂の中の小さな宝石」、「観察してみよう！溶岩が流れる様子」を週替わりで午前と午後を実施し、「岩石を割って作ろう！石ころ標本箱」を毎回実施



協 力：岩崎正夫(徳島大学名誉教授)、森 繁(雨竜自然科学館館長)、加藤泰浩(東京大学大学院工学系研究科教授)、川村教一(秋田大学教育文化学部准教授)、清川昌一(九州大学大学院理学府准教授)、向井淳彦(香川県立高松高等学校教諭)、高松市、(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構、アイボスポーツ、(株)大真空、香川大学工学部長谷川研究室・山中研究室

第22回  
ミュージアム  
レクチャー

#### 「化石について調べよう」

年月日：2012年7月21日(土)

講 師：寺林 優(企画展実行委員会委員長、博物館長、工学研究院教授)

会 場：香川大学博物館実習スペース

参加者：42名



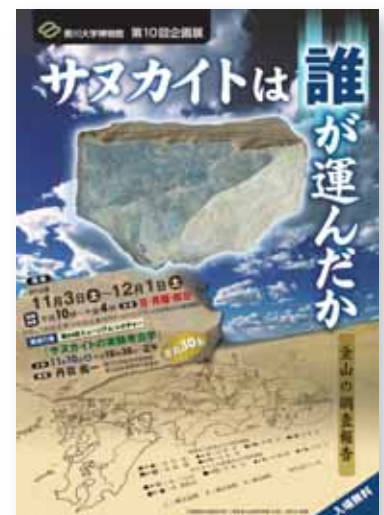
## 第10回 企画展

### サヌカイトは誰が運んだか

期 間：2012年11月3日(土)～12月1日(土)

入場者：544名

香川県の名産サヌカイトは旧石器時代から弥生時代まで石器石材中、西日本で最も広く使用された。中でも坂出市金山のサヌカイトは縄文時代以降最も多量に使用された。その理由を求めて香川大学考古学研究室は平成18年から金山の発掘調査を行い、出土品のほとんどを占める石器石材の板状石核と、中四国の各ムラから出土した板状石核の比較から、広域流通のネットワークを復元し、回答とした。本企画展はその研究報告



第24回  
ミュージアム  
レクチャー

#### 「サヌカイトの実験考古学」

年月日：2012年11月10日(土)

講 師：丹羽佑一(企画展実行委員会委員長、経済学研究院教授)

会 場：香川大学博物館実習スペース・展示室

参加者：23名





第11回  
企画展

## 讃岐のため池 そーっとのぞいて見てみよう展

期 間：2013年7月19日(金)～8月31日(土)

入場者：711名

「ため池の役割としくみ」、「ため池の自然環境と生き物たち」、「ため池で、今、起きている『困りごと』～ため池を未来に残すには～」のテーマに沿った展示。「ため池の機能を支える技術とその歴史」、「ため池の昆虫標本」、「ため池の貝類標本」、「ため池の植物標本」、「ため池の魚」、「外来種」、「みんなが書いた博物館絵日記」、「体験教室で見つけたプランクトン」、「ため池水のふるさと写真館」を展示。体験教室「香川のため池生き物観察」、「ため池ミニ工事体験」、関連企画「仏生山ため池歴史秘話・自然探索ウォーキング」を実施

協 力：香川県農政水産部土地改良課、多田 昭(香川生物学会)、水上水産、日本気象協会四国支店、独立行政法人情報処理推進機構

第29回  
ミュージアム  
レクチャー

## 「ため池の堤防の土 ～水にも強くする方法～」

年月日：2013年8月24日(土)

講 師：山中 稔(香川大学工学部准教授)

会 場：香川大学博物館

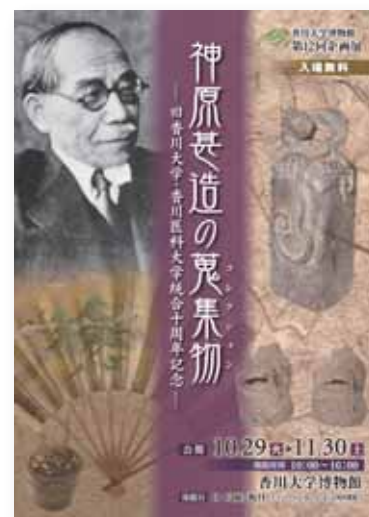
参加者：22名

第12回  
企画展コレクション  
神原甚造の蒐集物 —旧香川大学・香川医科大学統合十周年記念—

期 間：2013年10月29日(火)～11月30日(土)

入場者：413名

香川大学図書館から博物館に移管された「神原文庫」の器物類を、初めて展示公開。旧香川大学と香川医科大学が統合してちょうど10年になることを記念し、学芸学部(香川師範学校・香川青年師範学校を母体)および経済学部(高松経済専門学校を母体)の2学部で発足した旧香川大学の初代学長・神原甚造の、大学・学生・郷土に対する思いなどを、当時の新聞記事や研究者による論文などから抜粋して展示

特別  
講演会

## 「神原文庫に見る蘭学史・英学史—東西交渉史・文明移入史の観点から—」

年月日：2013年11月10日(日)

講 師：竹中龍範(香川大学教育学部教授)

会 場：香川大学教育学部第3会議室

参加者：43名



第13回  
企画展

## 昆虫の色とカタチ展

期 間：2014年7月18日(金)～8月30日(土)

入場者：773名

蝶やコガネムシ、タマムシなどの美しい昆虫の色や形が、どうやって作られるのか、昆虫にみられる色彩と造形の美を、実物の標本と拡大撮影した実体顕微鏡写真、走査型電子顕微鏡写真によって紹介。これらの色や形が、昆虫の生き残り戦略に果たしている役割を考察。体験教室「電子顕微鏡を使ってみよう」を実施し、来館者による実体顕微鏡・電子顕微鏡観察結果を展示



協 力：株式会社日立ハイテクノロジーズ、四国医療器株式会社、四国八洲薬品株式会社



第34回  
ミュージアム  
レクチャー

### 「昆虫の美を探る ～色や形は何のため～」

年月日：2014年8月23日(土)

講 師：安井行雄(香川大学農学部准教授)

会 場：香川大学博物館展示室・香川大学教養教育地学実験室

参加者：14名



第14回  
企画展

## 屋島の自然と景観 ―史跡・天然記念物屋島指定80周年記念企画展―

期 間：2014年11月8日(土)～12月20日(土)

入場者：606名

昭和9年11月10日に国の史跡と天然記念物に指定され、平成26年に80周年を迎えた「屋島」をテーマに、高松市歴史資料館の企画展「屋島―シンボリックな大地に刻まれた歴史―」と共



同で企画展を開催。香川大学博物館では、平成24・25年度に高松市から委託されて香川大学天然記念物屋島調査団が行った地形・地質をはじめとする自然および景観の調査研究の成果をパネル、写真や図表、標本資料等で紹介。体験教室「3Dプリンターで屋島や島々の形を作ってみよう」を火曜～金曜、各日2回実施

後 援：朝日新聞高松総局、RSK山陽放送、RNC西日本放送、NHK高松放送局、OHK岡山放送、KSB瀬戸内海放送、産経新聞高松支局、四国新聞社、TSCテレビせとうち、毎日新聞高松支局、読売新聞高松総局



第36回  
ミュージアム  
レクチャー

### 「天然記念物屋島調査と展示の解説」

年月日：2014年11月15日(土)・29日(土)

講 師：寺林 優(香川大学博物館長、香川大学工学部教授)

会 場：香川大学博物館展示室

参加者：1日目 19名

2日目 9名





第15回  
企画展

## カメの不思議

期 間：2015年7月17日(金)～8月29日(土)

入場者：1,265名

種々のカメの剥製標本を展示し、骨格標本でカメと他の動物を比較することによって、甲羅を有するカメの進化と多様性について紹介。また、日本固有のニホンイシガメをクサガメやミシシippアカミミガメと比較し、外来種問題の現状と対策について考えた。さらに会期中には、兵庫県立人と自然の博物館の移動博物館車「ゆめはく」による「むしむしみつけ!」を実施



協 力：香川大学工学部安全システム建設工学科角道研究室、香川大学農学部附属農場、兵庫医科大学解剖学講座細胞生物部門、神戸市立須磨海浜水族園、株式会社自然回復、兵庫県立人と自然の博物館

第38回  
ミュージアム  
レクチャー

## 「親子でカメキャッチーため池観察会」

年月日：2015年7月25日(土)

講 師：谷口真理(神戸市立須磨海浜水族園研究員・香川大学大学院工学研究科)

会 場：香川大学農学部附属農場

参加者：50名

## 講演会

## 「カメのきた長いみちのり」

年月日：2015年7月31日(金)

講 師：平山 廉(早稲田大学国際教養学部教授)

会 場：香川大学オーリースクエア

参加者：71名



カメのきた長いみちのり



親子でカメキャッチ

第16回  
企画展

## アートコレクション展 ―香川大学の前身校から現在までの美の系譜―

期 間：2015年10月28日(水)～11月28日(土)

入場者：451名

香川大学の前身校のひとつである香川大学師範学校時に赴任され、退職されるまで香川大学および香川県の美術教育発展のため貢献された谷口國介先生の絵画を紹介するとともに、香川大学博物館で所蔵している絵画や美術品を公開展示。香川大学教育学部同窓会「松楠会」所蔵の書と絵画、教育学部美術領域所属教員の作品展示とミュージアムトークを実施



協 力：倉石文雄(香川大学教育学部教授)、小西憲一(香川大学教育学部教授)、古草敦史(香川大学教育学部教授)、池田清史(香川大学教育学部特命教授)、香川大学教育学部同窓会 松楠会

協 賛：株式会社ナルホド成豊堂

第39回  
ミュージアム  
レクチャー

## 「発泡スチロールでスタンプを作ろう」

年月日：2015年11月7日(土)

講 師：井上幸恵(香川大学博物館事務補佐員)

会 場：香川大学教養教育地学実験室

参加者：14名

第40回  
ミュージアム  
レクチャー

## 「〇〇で!? 染め物体験 ―オリジナルバッグを作ろう―」

年月日：2015年11月14日(土)

講 師：井上幸恵(香川大学博物館事務補佐員)

会 場：香川大学教養教育生物学実験室

参加者：5名



## ミュージアム・レクチャー

第1回

2009  
5/9

### サヌカイト・コレクション

講師

丹羽佑一

(香川大学経済学部教授・博物館長)



参加者:4名

第2回

2009  
6/13

### フィールドワークで地球を探る

講師

寺林 優

(香川大学工学部准教授・博物館副館長)



参加者:9名

第3回

2009  
7/11

### イルカのからだと海のゴミ

講師

寺山弘樹

(日本ドルフィンセンター長・NPO 法人日本ドルフィンセラピー協会)



参加者:11名

第4回

2009  
9/12

### 雑草をみて描いてみよう

講師

岡田智子

(岡山市デジタルミュージアム学芸員)

末廣喜代一

(香川大学教育学部教授)



参加者:16名

第5回

2009  
10/10

### 昆虫の色や形にはどんな意味があるだろう

講師

安井行雄

(香川大学農学部准教授)



参加者:15名

第6回

2009  
11/14

### 瀬戸内今昔観光遊覧

講師

丹羽佑一

(香川大学経済学部教授・博物館長)

稲田道彦

(香川大学経済学部教授)



参加者:30名

第7回

2009  
12/12

### 人工衛星KUKAIと香川発宇宙開発

講師

能見公博

(香川大学工学部准教授・香川衛星プロジェクト STARS 主宰)



参加者:9名

第8回

2010  
2/13

### 瀬戸内に生息する生物たち

講師

滝川裕子

(香川大学農学部技術補佐員)



参加者:10名

第9回

2010  
3/13

### 親子せっけん教室

講師

北條充敏・富田ゆかり

(香川大学情報図書グループ)



参加者:11名



2010  
第10回 5/15

## みんなあつまれ! わくわく大学たんけん隊

講師

山本珠美

(香川大学生涯学習教育研究センター准教授)

葛城浩一

(香川大学大学教育開発センター准教授)



参加者:29名

2010  
第11回 6/19

## サヌカイトの 考古学入門

講師

丹羽佑一

(香川大学経済学部教授・博物館長)



参加者:7名

2010  
第12回 7/10

## 里山の哺乳類を 解剖する

講師

川口 敏

(香川生物学会常任理事)



参加者:16名

2010  
第13回 10/9

## 花粉を 観察してみよう

講師

松居俊典

(香川大学工学部技術職員)



参加者:14名

2010  
第14回 11/20

## 四国遍路が 残した資料

講師

稲田道彦

(香川大学経済学部教授)



参加者:53名

2011  
第15回 1/29

## みんなあつまれ! わくわく大学たんけん隊 第2弾

講師

わくわく大学たんけん☆プロジェクト

リーダー:鳥羽謙仁

(香川大学経済学部2年)

監修:山本珠美

(香川大学生涯学習教育研究センター准教授)



参加者:30名

2011  
第16回 6/11

## 煮干しの解剖

講師

松本一範

(香川大学教育学研究院准教授)



参加者:18名

2011  
第17回 7/23

## 星座の物語 ～プラネタリウムを作ろう～

講師

久米咲弥香・黒瀬翔太

(香川大学教育学部3年) 他



参加者:21名

2011  
第18回 10/8

## マンドリンの魅力

講師

木村 竜

(香川大学マンドリン部) 他



参加者:4名

## ミュージアム・レクチャー

2011  
第19回 11/5

### プラネタリウムを作ろう

(ミュージアム・レクチャー in 小豆島 第1回)

会場：土庄町中央公民館

講師

山本珠美

(香川大学生涯学習教育研究センター准教授・博物館副館長)



主催：かがわ子ども大学実行委員会  
香川大学博物館  
土庄町教育委員会

参加者：15名

2011  
第20回 11/12

### アリの世界

(ミュージアム・レクチャー in 小豆島 第2回)

会場：土庄町中央公民館

講師

伊藤文紀

(香川大学農学研究院教授・博物館副館長)



主催：かがわ子ども大学実行委員会  
香川大学博物館  
土庄町教育委員会

参加者：10名

2011  
第21回 11/19

### アンモナイト・三葉虫レプリカ制作

(ミュージアム・レクチャー in 小豆島 第3回)

会場：土庄町中央公民館

講師

寺林 優

(香川大学工学研究院教授・博物館長)



主催：かがわ子ども大学実行委員会  
香川大学博物館  
土庄町教育委員会

参加者：19名

2012  
第22回 7/21

### 化石について調べよう

講師

寺林 優

(香川大学工学研究院教授・博物館長)



参加者：42名

2012  
第23回 10/13

### 大雨のひみつ

講師

寺尾 徹

(香川大学アーツ・サイエンス研究院教授)



参加者：22名

2012  
第24回 11/10

### サヌカイトの 実験考古学

講師

丹羽佑一

(香川大学経済学研究院教授)



参加者：23名

2012  
第25回 12/1

### 紙飛行機の魅力

講師

岩中貴裕

(香川大学大学教育開発センター准教授)



参加者：36名

2013  
第26回 3/16

### 骨付き鳥の恐竜学

講師

松本由樹

(香川大学農学研究院准教授)



参加者：33名

2013  
第27回 3/28

### クジラの祖先は4本足で 陸上を歩いていた

講師

石川 創

(公益財団法人下関海洋科学アカデミー鯨類研究室室長)

寺山弘樹

(株式会社日本ドルフィンセンター代表取締役社長)



参加者：60名



2013  
第28回 6/29

## のぞいてみよう！ 顕微鏡の世界

講師  
阪本晴彦  
(香川大学副学長)



参加者:33名

2013  
第29回 8/24

## ため池の堤防の土 ～水にも強くする方法～

講師  
山中 稔  
(香川大学工学部准教授)



参加者:22名

2014  
第30回 2/1

## 「煮干しを解剖してみよう」 「ムラサキキャベツの色を変えよう」

講師  
松本一範  
(香川大学教育学部准教授)  
篠原 渉  
(香川大学教育学部准教授)



主催:かがわ子ども大学  
香川大学キャンパス実行委員会

参加者:37名

2014  
第31回 2/8

## 「アリの世界をみてみよう」 「ニワトリのからだのしくみ」

講師  
伊藤文紀  
(香川大学農学部教授・博物館副館長)  
松本由樹  
(香川大学農学部准教授)



主催:かがわ子ども大学  
香川大学キャンパス実行委員会

参加者:29名

2014  
第32回 2/15

## 「3D プリンターでものづくり」 「光で遊ぼう」 「庵治石を切ってみがこう」

講師  
石原秀典、鶴町徳昭  
(香川大学工学部准教授)  
寺林 優  
(香川大学工学部教授・博物館長)



主催:かがわ子ども大学  
香川大学キャンパス実行委員会

参加者:36名

2014  
第33回 3/15

## 自作カメラで 写真を撮ろう!

講師  
礒田 誠  
(香川大学教育学部教授)



参加者:19名

2014  
第34回 8/23

## 昆虫の美を探る ～色や形は何のため～

講師  
安井行雄  
(香川大学農学部准教授)



参加者:14名

2014  
第35回 10/4・18

## 教授を魅了した大地の結晶 ミュージアムトーク

講師  
谷山 譲  
(香川大学名誉教授)



参加者:40名

2014  
第36回 11/15・29

## 天然記念物屋島調査と 展示の解説

講師  
寺林 優  
(香川大学工学部教授・博物館長)



参加者:37名

## ミュージアム・レクチャー

2015  
第37回 3/25

地震・津波を知り  
南海トラフ巨大地震に備える  
ー高松に何が起こるかー

講師

岡村 眞

(高知大学総合研究センター教授)

堀込智之

(元宮城県立石巻工業高等学校教頭)



参加者:69名

2015  
第38回 7/25

親子でカメキャッチ  
～ため池観察会～

講師

谷口真理

(神戸市立須磨海浜水族園研究員・  
香川大学大学院工学研究科)



主催:かがわ子ども大学  
香川大学キャンパス実行委員会

参加者:50名

2015  
第39回 11/7

発泡スチロールで  
スタンプを作ろう

講師

井上幸恵

(香川大学博物館事務補佐員)



参加者:37名

2015  
第40回 11/14

〇〇で!? 染め物体験  
～オリジナルバッグを作ろう～

講師

井上幸恵

(香川大学博物館事務補佐員)



参加者:5名

2015  
第41回 11/23

落ち葉の下の土壌動物の  
世界をのぞいてみよう

講師

豊田 鮎

(香川大学農学部助教)



主催:かがわ子ども大学  
香川大学キャンパス実行委員会

参加者:104名

2015  
第42回 11/23

アリの取り方・調べ方

講師

伊藤文紀

(香川大学農学部教授・博物館副館長)



主催:かがわ子ども大学  
香川大学キャンパス実行委員会

参加者:104名

2016  
第43回 02/20

野生動物がいる  
くらしを科学する

講師

十川和士

(香川県環境森林部みどり保全課)

松本保雄

(香川県環境森林部みどり保全課)



主催:かがわ子ども大学  
香川大学キャンパス実行委員会

参加者:29名

2016  
第44回 02/20

家畜がいる  
くらしを科学する

講師

川崎淨教

(香川大学農学部助教)

松本由樹

(香川大学農学部准教授)



主催:かがわ子ども大学  
香川大学キャンパス実行委員会

参加者:29名



## ものづくり教室 in 香川大学博物館

講師 かがわ源内ネットワーク  
(独) 科学技術振興機構「地域の科学舎推進事業」

第1回 2010/12/4

手作りのおもちゃで  
遊ぼう!



参加者:37名

第2回 2011/1/22

熱気球を作ろう!



参加者:43名

第3回 2011/2/19

レゴロボットで  
遊ぼう!



参加者:31名

2011/5/21	第5回 2011/6/18	第6回 2011/7/16	第7回 2011/9/17
スライム作り	ブーメラン作り	紙コップで あやつり人形を作ろう!	ハイパーおりがみ
参加者:12名	参加者:15名	参加者:11名	参加者:11名
2011/11/19	第9回 2011/12/17	第10回 2012/1/21	第11回 2012/2/18
ストロンボーンを 作ろう	紙皿飛行機を 作ろう	空き缶で 弓矢を作ろう	空気砲を作ろう
参加者:8名	参加者:15名	参加者:11名	参加者:11名



ブーメラン作り



紙コップであやつり人形を作ろう!



空気砲を作ろう

第12回 2012/5/19	第13回 2012/6/16	第14回 2012/7/21	第15回 2012/9/15
手作り和紙	万華鏡づくり	ストロークラフト・ スライム	飛び出すカード
参加者:24名	参加者:31名	参加者:23名	参加者:17名
第16回 2012/10/21	第17回 2012/11/17	第18回 2012/12/15	第19回 2013/1/26
おばけコップ ダンシング	コイルモーター	電気クラゲ・フランクリン モータ・百人おどし	ブンブンごま・ ヘリコプターごま
参加者:15名	参加者:13名	参加者:11名	参加者:2名



手作り和紙



万華鏡づくり



ストロークラフト・スライム

## 教育活動

### ● 香川大学教育学部博物館学芸員コース

#### ◆マイミュージアム(私設博物館)展

- 第1回：2009(平成21)年5月19日(火)～29日(金) 出展6名  
第2回：2010(平成22)年6月12日(土)～26日(土) 出展6名  
第3回：2011(平成23)年6月25日(土)～7月9日(土) 出展18名  
第4回：2012(平成24)年6月19日(火)～30日(土) 出展6名  
第5回：2013(平成25)年6月18日(火)～29日(土) 出展3名

### ● 香川大学生涯学習教育研究センター

#### ◆平成17年度公開講座

実施日：2005(平成17)年7月26日(火)・27日(水)・28日(木)、  
8月8日(月)・9日(火)・10日(水)

講座名：恐竜を復元しよう

講師：仲谷英夫(香川大学博物館研究機構、工学部教授)

受講者：31名

#### ◆平成18年度公開講座

実施日：2006(平成18)年5月14日(土)～7月19日(水)〈5回〉

講座名：人類の知的財産を守る

講師：丹羽佑一(博物館委員会委員、経済学部教授)

山本珠美(博物館委員会委員、生涯学習教育研究センター助教授)ほか

受講者：6名

#### ◆平成20年度公開講座

実施日：2008(平成20)年7月23日(水)・24日(木)・25日(金)

講座名：「モノ」の見方 ～研究はじめての第一歩～

講師：安井行雄(第2回企画展実行委員会委員長、農学部准教授)

寺林 優(博物館副館長、工学部准教授)

丹羽佑一(博物館長、経済学部教授)

受講者：27名

#### ◆平成21年度公開講座

実施日：2009(平成21)年8月4日(火)・5日(水)・6日(木)

講座名：海岸の砂浜や海にすんでいる生物を調べよう

講師：伊藤文紀(第3回企画展実行委員会委員長・博物館副館長、農学部教授)

末永慶寛(工学部教授)

松本一範(教育学部准教授)

受講者：25名

#### ◆平成22年度公開講座

実施日：2010(平成22)年7月28日(水)・29日(木)

講座名：アリのとり方、飼い方、調べ方

講師：伊藤文紀(第5回企画展実行委員会委員長・博物館副館長、農学部教授)

受講者：22名

#### ◆平成23年度公開講座

実施日：2011(平成23)年7月23日(土)・26日(金)・28日(木)

講座名：たまごが先か？ニワトリが先か？育て方で決まります

講師：松本由樹(第7回企画展実行委員会委員長、農学研究助教授)

都築政起(広島大学大学院生物圏科学研究科教授・

日本鶏資源開発プロジェクト研究センター長)

長坂直比路(高知県畜産試験場中家畜課長)

受講者：8名

#### ◆平成23年度公開講座

実施日：2011(平成23)年7月28日(木)・29日(金)

講座名：アリのとり方、飼い方、調べ方

講師：伊藤文紀(博物館副館長、農学研究助教授)

受講者：20名

### ● 香川大学希少糖研究センター

#### ◆「世界最初に大量生産した希少糖および分離機器」展示開始 記念講演会・説明会

実施日：2012(平成24)年3月17日(土)

会場：講演会 香川大学幸町北415教室・説明会 博物館展示室

講演会：かがわ生まれの希少糖で健康になろう

題目：「希少糖を作る」

何森 健(香川大学特任教授)

「希少糖を使う」

徳田雅明(香川大学希少糖研究センター長)

「希少糖をあげる」

近藤浩二(株式会社希少糖生産技術研究所代表取締役)

参加者：講演会35名・見学会33名

主催：香川大学博物館・香川大学希少糖研究センター

### ● 香川大学男女共同参画室

#### ◆児童サマースクール「幸町探検隊」

実施日：2013(平成25)年8月20日(火)

講座名：ため池ミニ工事体験

講師：山中 稔(第11回企画展実行委員、工学部准教授)

参加者：30名

### ● 香川大学医学部附属病院ワーク・ライフ・バランス支援室

#### ◆児童サマースクール「医学部探検隊」

実施日：2011(平成23)年8月19日(金)

講座名：いのちをいただくということ

講師：松本由樹(第7回企画展実行委員会委員長、農学研究助教授)

参加者：27名

### ● 香川大学

#### ◆平成25年度地域連携推進経費「さめき自然史研究リーダーの養成」

実施日：2013(平成25)年10月14日(月)

場所：東かがわ市田の浦海岸および城山・香川県立三本松高等学校

講師：「樹木班」守屋 均(工学部講師)、TA(ティーチングアシスタント)1名

「昆虫班」伊藤文紀(博物館副館長、農学部教授)、TA 3名

「地質班」寺林 優(博物館長、工学部教授)、TA 1名

参加校：香川県立三本松高等学校、香川県立高松高等学校、香川

県立高松商業高等学校、香川県立観音寺第一高等学校

参加者：生徒32名、教員4名

#### ◆平成27年度高大接続推進事業「自然史研究リーダー養成による フィールド研究志向高校生のリクルート」

実施日：2015(平成27)年11月14日(土)

場所：屋島(長崎の鼻～北嶺～山上)・れいがん茶屋

講師：「地質班」寺林 優(博物館長、工学部教授)、TA2名

「昆虫班」伊藤文紀(博物館副館長、農学部教授)、TA3名

「植物(樹木)班」守屋 均(工学部講師)、TA2名

「植物(草本)班」篠原 渉(教育学部准教授)、TA3名

参加校：香川県立香川中央高等学校、香川県立高松東高等学校、

香川県立高松北高等学校、香川県立高松西高等学校、香川

県立丸亀高等学校、香川県立丸亀城西高等学校、香川

県立観音寺第一高等学校

参加者：生徒28名、教員7名

### ● 放送大学香川学習センター

#### ◆平成20年度面接授業

実施日：2008(平成20)年12月13日(土)・14日(日)

科目名：古代瀬戸内の石の文化

講師：丹羽佑一(博物館長、経済学部教授)

受講者：29名

#### ◆平成22年度面接授業

実施日：2010(平成22)年7月10日(土)・11日(日)

科目名：生命と地球の共進化

講師：寺林 優(博物館副館長、工学部准教授)

受講者：36名

#### ◆平成22年度公開講演会

実施日：2010(平成22)年12月5日(日)

演題：紫雲山弥生人はどこから来たか

講師：丹羽佑一(博物館長、経済学部教授、放送大学客員教授)

参加者：20名

#### ◆平成24年度面接授業

実施日：2012(平成24)年10月27日(土)・28日(日)

科目名：地球とその歴史を語る

講師：寺林 優(博物館長、工学部准教授)

受講者：25名

### ● 香川県教育委員会家庭・地域教育力再生事業「かがわ子ども大学」

#### ◆香川大学まるごと体験ツアー

～あなたにピッタリの「博士」を見つけよう！～

実施日：2014(平成26)年2月1日(土)

場所：香川大学幸町キャンパス

講座名：「煮干しを解剖してみよう」

松本一範(教育学部准教授)

「ムラサキキャベツの色を変えよう」

篠原 渉(教育学部准教授)

参加者：37名

実施日：2014(平成26)年2月8日(土)

場所：香川大学三木町農学部キャンパス

講座名：「アリの世界をみてみよう」

伊藤文紀(博物館副館長、農学部教授)

「ニワトリのからだのしくみ」

松本由樹(農学部准教授)

参加者：29名



実施日：2014(平成26)年2月15日(土)  
場 所：香川大学林町キャンパス  
講座名：「3Dプリンターでものづくり」  
石原秀則(工学部准教授)  
「光で遊ぼう」  
鶴町徳昭(工学部准教授)  
「庵治石を切ってみよう」  
寺林 優(博物館長、工学部教授)

参加者：36名

主 催：かがわ子ども大学香川大学キャンパス実行委員会  
共 催：香川大学博物館

#### ◆外来種動物による農作物被害や在来種絶滅はなぜ起きるのだろうか

実施日：2015(平成27)年7月25日(土)  
場 所：香川大学農学部附属農場  
講座名：「親子でカメキャッチ」  
谷口真理(神戸市立須磨海浜水族園研究員・香川大学大学院工学研究科)

参加者：50名

実施日：2015(平成27)年11月23日(月)  
場 所：香川県公測森林公園  
講座名：「落ち葉の下の土壌動物の世界をのぞいてみよう」  
豊田 鮎(農学部助教)  
「アリの取り方・調べ方」  
伊藤文紀(博物館副館長、農学部教授)

参加者：104名

実施日：2016(平成28)年2月20日(土)  
場 所：香川大学農学部附属農場  
講座名：「野生動物のいるくらしを科学する」  
「身近な自然と生き物たち」  
十川和士(香川県環境森林部みどり保全課)  
「もしも野外でイノシシに出あったら」  
松本保雄(香川県環境森林部みどり保全課)  
「家畜がいるくらしを科学する」  
「農場のアライグマ・イノシシ対策」  
川崎淨教(農学部助教)  
「イノシシとブタの家畜への道」  
松本由樹(農学部准教授)

参加者：29名

主 催：かがわ子ども大学香川大学キャンパス実行委員会  
共 催：香川大学博物館

#### ●高松市こども未来館

##### ◆開館1年前イベント「こども未来館まつり2015」

実施日：2015(平成27)年10月24日(土)・25日(日)  
場 所：香川大学工学部・高陽建設(株)Galleru sizucu  
講座名：化石レプリカを作ろう  
講 師：寺林 優(香川大学博物館長、工学部教授)、TA 4名  
参加者：304名  
主 催：高松市子育て支援課こども未来館整備室  
協 力：香川大学博物館、他10団体

#### ●独立行政法人科学技術振興機構

##### ◆平成21年度サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト

実施日：2010(平成22)年2月12日(金)・16日(火)・26日(金)  
講座名：「モノ」の見方～研究ははじめの第一歩～  
「石清尾山の昆虫を調べよう」  
伊藤文紀(博物館副館長、農学部教授)  
「石清尾山塊の地質を調べよう」  
寺林 優(博物館副館長、工学部准教授)  
「石清尾山で古墳人に会おう」  
丹羽佑一(博物館長、経済学部教授)

連携先：香川大学教育学部附属高松中学校

受講者：362名(延べ)

##### ◆平成22年度サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト

実施日：2011(平成23)年1月18日(火)・2月1日(火)・8日(火)  
講座名：「モノ」の見方～研究ははじめの第一歩～  
「金山の植生を調べよう」  
守屋 均(工学部講師)  
「冬の虫たちを調べよう」  
伊藤文紀(博物館副館長、農学部教授)  
「金山の地質を調べよう」  
寺林 優(博物館副館長、工学部教授)  
「金山で先史人と会おう」  
丹羽佑一(博物館長、経済学部教授)

連携先：香川大学教育学部附属坂出中学校

受講者：353名(延べ)

##### ◆平成24年度サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト

講座名：さぬき自然史探究  
実施日：2012(平成24)年6月8日(金)・16日(土)・9月8日(土)  
「飯野山の植生を調べる」  
守屋 均(博物館会議委員、工学研究院講師)  
「飯野山の地質を調べよう」  
寺林 優(博物館長、工学研究院教授)  
「飯野山のアリの調べよう」  
伊藤文紀(博物館副館長、農学研究教授)

実施日：2012(平成24)年9月11日(火)・29日(土)  
「大麻山周辺の植生を調べる」  
守屋 均(博物館会議委員、工学研究院講師)  
「小豆島の地質を調べよう」  
寺林 優(博物館長、工学研究院教授)  
「小豆島のアリの調べよう」  
伊藤文紀(博物館副館長、農学研究教授)

連携先：香川県立丸亀城西高等学校、香川県立土庄高等学校、  
香川県立小豆島高等学校  
受講者：120名(延べ)

#### ●独立行政法人宇宙航空研究開発機構

##### ◆ディスカバリーキッズ科学実験館コスミックカレッジ2012

実施日：2012(平成24)年12月15日(土)  
会 場：香川大学研究交流棟5階 研究者交流スペース  
テーマ：宇宙開発が拓く、私たちの未来  
講 師：JAXA宇宙教育センター宇宙教育指導者他  
参加者：午前の部 99名・午後の部 98名  
主 催：ディスカバリー・ジャパン株式会社  
独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)  
共 催：香川大学博物館  
財団法人日本宇宙少年団香川小惑星分団  
特別協力：高松ケーブルテレビ

##### ◆ディスカバリーキッズ科学実験館コスミックカレッジ2014

実施日：2014(平成26)年11月30日(日)  
会 場：香川大学幸町北415教室  
テーマ：めざせ！宇宙を探索するミッションスペシャリスト  
講 師：JAXA宇宙教育センター宇宙教育指導者他  
参加者：午前の部 232名・午後の部 162名  
主 催：ディスカバリー・ジャパン株式会社  
独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)  
香川大学博物館  
協 力：ケーブルメディア四国  
協 賛：三菱電機株式会社、株式会社ヤクルト本社

#### ●みんなでつくる自然史博物館・香川

##### ◆平成26年度ナチュラルヒストリーの基礎講座

実施日：2014(平成26)年7月5日(土)  
場 所：eとびあ・かがわ5階 BBスクエア  
講座名：瀬戸内火山岩類と屋島  
講 師：寺林 優(香川大学博物館長、工学部教授)

実施日：2015(平成27)年3月7日(土)  
場 所：eとびあ・かがわ5階 BBスクエア  
講座名：屋島の昆虫と陸貝  
講 師：伊藤文紀(香川大学博物館副館長、農学部教授)  
多田 昭(香川生物学会)

#### ●みつびしでんき野外教室

##### ◆みつびしでんき野外教室～冬の昆虫類を観察しよう～

実施日：2013(平成25)年12月7日(土)  
場 所：高松市峰山公園 はにわっ子広場および周辺散策道  
講 師：伊藤文紀(博物館副館長、農学部教授)  
参加者：22名  
主 催：三菱電機株式会社四国支社  
共 催：香川大学博物館

##### ◆みつびしでんき野外教室「親子でカメCatch ため池観察会」

実施日：2014(平成26)年8月23日(土)  
場 所：香川県公測森林公園 森林学習展示館およびその近辺のため池  
講 師：谷口真理(神戸市立須磨海浜水族園研究員・香川大学大学院工学研究科)  
参加者：27名  
主 催：三菱電機株式会社四国支社  
共 催：香川大学博物館

## 研究活動

### ● 学会発表

- ◆中原理恵子・岡野 眞・仲谷英夫・寺林 優・丹羽佑一  
香川大学における大学博物館づくり  
日本地質学会四国支部第5回講演会(香川大学, 2005年12月)
- ◆山本珠美  
香川大学博物館における公開講座の取組～「恐竜を復元しよう」を例に～  
第1回博物科学会(北海道大学, 2006年6月)
- ◆寺林 優・山本珠美・倉橋伴知  
大学と地域の連携を深めるための博物館づくり—香川大学博物館の構想から開館まで—  
第3回博物科学会(大阪大学, 2008年6月)
- ◆岡野 眞・寺林 優  
大学博物館のファシリティマネジメントに関する考察  
第4回博物科学会(鹿児島大学, 2009年5月)
- ◆松下幸司・松本由樹・伊藤文紀・寺林 優  
「来館者とのコミュニケーションがつくる企画展」の試み：平成22年度企画展「アリの世界～『○○してみる』研究室～」の事例から  
第6回博物科学会(名古屋大学, 2011年6月)
- ◆松本由樹・松下幸司・伊藤文紀・寺林 優  
来館者とのコミュニケーションがつくる企画展—平成23年度企画展「おいしいお肉の向こうには」の事例から  
第7回博物科学会(京都大学, 2012年6月)
- ◆松本由樹・松下幸司・伊藤文紀・寺林 優  
来館者とのコミュニケーションがつくる企画展—「形と機能」の理解を目指した展示はつたわったのか？  
第9回博物科学会(愛媛大学, 2014年6月)
- ◆篠原 渉  
香川大学教育学部生物学教室所蔵さく葉標本の特徴  
第10回博物科学会(金沢大学, 2015年6月)

### ● 調査研究

- ◆博物館展示用標本特別収集(沖縄県石垣島新石垣空港建設現場地内鍾乳洞の鍾乳石)。丹羽佑一・寺林 優・倉橋伴知, 2009(平成21)年3月25日(水)～27日(金), 平成20年度香川大学特定施策推進経費(臨時)
- ◆香川大学博物館第8回企画展「小惑星探査機『はやぶさ』帰還カプセル展」。寺林 優・伊藤文紀・山本珠美・松村雅文・古草敦史・岩本直樹, 一般財団法人百十四銀行学術文化振興財団平成23年度研究助成
- ◆さぬき自然史探求—地域の貴重な自然史資源の探求とその利活用—。寺林 優・伊藤文紀・守屋 均・松本一範・一見和彦, 2012(平成24)年度香川大学地域連携推進経費
- ◆さぬき自然史研究リーダーの養成。寺林 優・伊藤文紀・守屋 均・松本一範・一見和彦, 2013(平成25)年度香川大学地域連携推進経費
- ◆モバイルミュージアムによるさぬき自然史研究リーダーの養成。寺林 優(代表), 2015(平成26)年度香川大学地(知)の拠点整備事業
- ◆モバイルミュージアム。寺林 優(代表), 2016(平成27)年度香川大学地(知)の拠点整備事業

### ● 共同研究

- ◆パブリック・ヒューマニティーズの方法論：学術標本資料ならびに文化資源のネットワーク型共同利用から創出される学術的専門知と公共社会との融和。寺林 優(代表 出口正之国立民俗学博物館教授), 2008(平成20)年度人間文化研究機構総合推進事業(課題番号：20301133)

## 表彰・受賞

### 〈表彰〉

#### ● 感謝状贈呈

- 2010年10月1日 大屋 崇氏 第2回企画展「昆虫のふしぎ」展示協力(学長表彰)  
2012年2月15日 福田隆宥氏 南極の岩石2点、関連書籍1冊の寄贈  
2012年5月9日 長坂直比路氏 第7回企画展「おいしいお肉の向こうには…」展示協力及び公開講座講師  
2012年5月9日 NPOたけとよ・武豊はやぶさ実行委員会 第8回企画展「小惑星探査機『はやぶさ』帰還カプセル展」展示協力  
2012年5月15日 財団法人日本宇宙少年団香川小惑星分団 第8回企画展「小惑星探査機『はやぶさ』帰還カプセル展」共催(学長表彰)  
2013年12月5日 渡辺義雄氏 送信管2点の寄贈  
2015年11月19日 丸岡正明氏 砂金3点の寄贈  
2015年11月19日 瀬戸修一氏 パソコン・ディスプレイ・プリンタ5点の寄贈

### 〈受賞〉

#### ● 平成25年度文部科学大臣表彰科学技術賞(理解増進部門)

受賞日：2013(平成25)年4月16日

受賞者：寺林 優(博物館長、工学部教授)・伊藤文紀(博物館副館長、農学部教授)・山本珠美(元博物館副館長、生涯教育研究センター准教授)・松本由樹(農学部准教授)・松下幸司(教育学部附属教育実践総合センター准教授)

業績名：自然史系標本資料活用の拠点形成による科学への理解増進

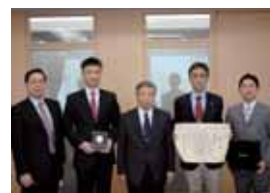
香川県は狭い面積にもかかわらず古くから人口が多く徹底的に開発されてきたため、希少な自然環境はあまり残されていない印象があるが、注目すべき地質や特有の動植物相がみられる。自然史に対する児童生徒および地元住民の理解を深めるだけでなく、自然に関する活動に携わり、さまざまな環境問題の解決にも資する人材の養成が求められている。本活動では、香川大学内に分散している貴重な学術資料を収蔵し、公開・活用するために、四国初となる大学博物館の設置(平成19年4月)および開館(平成20年4月)に尽力した。学内から異なる専門分野の教員が参画し、企画展、公開講座、講演会、ミュージアム・レクチャーなどを多数開催した。さらに、科学技術振興機構のサイエンス・パートナーシップ・プロジェクトによるフィールドワークを中心とした講座・実習を県内の中学校および高等学校と連携して実施した。本活動により、大学博物館を拠点とした自然史科学に関する学内外との交流および協同が実現し、地元住民の自然史系標本資料に対する関心と意識が高まるなど、科学への理解増進に寄与している。



受賞した5名



表彰式



香川大学長に報告



高松市長を表敬訪問



## 報道状況

2005  
(平成17)  
年度

2005年7月11日 NHK高松放送局  
2005年7月12日 読売新聞(35面)  
2005年7月12日 四国新聞(22面)  
2005年7月13日 山陽新聞(32面)  
2005年7月20日 毎日新聞(20面)  
2006年1月24日 四国新聞(15面)  
2006年3月6日 四国新聞(3面)

香川大学工学部でサヌカイトを展示(ゆうどき香川がいっぱい 他)  
眠った資料一般に公開 博物館構想スタート まずサヌカイト展示  
香川大が「大学博物館」サヌカイトを初展示  
香川大を博物館に 展示第1弾サヌカイト  
香川大で博物館づくり  
大学博物館 学術資料 地域に公開  
月曜随想「クビナガリュウの化石」

2006  
(平成18)  
年度

2006年8月10日 NHK高松放送局  
2007年1月20日 リビングたかまつ(5面)  
2007年1月23日 NHK高松放送局  
2007年1月23日 RNC西日本放送  
2007年1月24日 山陽新聞(32面)  
2007年1月24日 山陽新聞(30面)  
2007年1月24日 四国新聞(19面)  
2007年1月25日 朝日新聞(32面)  
2007年1月26日 読売新聞(27面)

子供たちが恐竜を復元(ゆうどき香川がいっぱい 他)  
香川大学博物館 第1回学外特別展「香川大学のあしあと」  
香川大の資料など展示(ゆうどき香川がいっぱい 他)  
今春 香川大博物館開設記念“香川大学のあしあと”(RNC News リアルタイム)  
研究成果地域に公開 香川大学博物館4月開設  
歩み知る貴重資料 香川大学博物館特別展示始まる  
香川大の“お宝”公開「博物館構想」高松で初の学外展覧会  
開かれた大学へ商店街で資料展 香川大  
技術や資料 地域に生かせ 香大博物館 初の学外展

2007  
(平成19)  
年度

2008年1月18日 読売新聞(26面)  
2008年1月22日 KSB瀬戸内海放送  
2008年1月22日 NHK高松放送局  
2008年1月23日 山陽新聞(28面)  
2008年1月23日 四国新聞(20面)  
2008年1月25日 朝日新聞(32面)  
2008年2月28日 読売新聞(33面)

学外特別展「かがわの里山」  
香川大学が自然をテーマに展示会(岡山・香川のニュース)  
里山の自然展(ゆうどき香川ニュース610 他)  
香川大 高松で学外展「かがわの里山」  
「香川大博物館」4月開設 研究資料を地域に公開  
香大の里山研究紹介 高松で学外展 チョウや骨格標本展示  
香川大に博物館

2008  
(平成20)  
年度

2008年4月12日 リビングたかまつ(8面)  
2008年4月16日 スポーツ報知(25面)  
2008年4月18日 KSB瀬戸内海放送  
2008年4月24日 KSB瀬戸内海放送  
2008年4月24日 NHK高松放送局  
2008年4月24日 RNC西日本放送  
2008年4月24日 TSCテレビせとうち  
2008年4月25日 産経新聞(24面)  
2008年4月25日 山陽新聞(32面)  
2008年4月25日 朝日新聞(32面)  
2008年4月25日 読売新聞(29面)  
2008年4月25日 四国新聞(25面)  
2008年5月4日 山陽新聞(23面)  
2008年5月9日 NHK高松放送局  
2008年6月3日 RNCラジオ  
2008年6月6日 朝日新聞(25面)  
2008年6月12日 NHK高松放送局  
2008年6月13日 山陽新聞(28面)  
2008年6月17日 毎日新聞(20面)  
2008年6月23日 RSK山陽放送  
2008年6月23日 読売新聞(27面)  
2008年7月1日 かがわ探検ミュージアム(15頁)  
2008年7月2日 文教速報(12面)  
2008年7月29日 RNCラジオ  
2008年7月31日 NHK高松放送局  
2008年7月 かがアド8号(15-16頁)  
2008年8月13日 FM香川  
2008年8月29日 読売さぬきネット  
2008年8月 RSK山陽放送  
2008年9月7日 四国新聞(1面)  
2008年9月8日 読売新聞(27面)  
2008年9月12日 高松ケーブルテレビ  
2008年10月22日 文教速報(8面)  
2008年11月1日 かがわ探検ミュージアム(16頁)  
2009年1月1日 かがわ探検ミュージアム(15頁)

4月24日午後オープン「香川大学博物館」  
四国初の大学附属博物館で志願者減少止める  
四国初 香川大学に博物館(スーパー Jチャンネル)  
香川大学博物館オープン(岡山・香川のニュース)  
香川大に博物館 四国初 香川大学にオープン(ゆうどき香川ニュース610)  
四国初!香川大学に付属博物館(RNC News リアルタイム)  
香川大学博物館オープン(ザニュースTSC)  
香川大に博物館オープン 地域交流拠点目指し  
収集の資料標本を公開 香川大学博物館が開館  
香川大が博物館 研究成果を展示 高松にオープン  
香川大博物館が開館  
研究成果惜しみなく 香大博物館オープン 全学部の資料展示  
香川大学博物館オープン 知的好奇心がいっぱい  
大学に博物館(ゆうどき香川ニュース610・中継おじゃまします)  
ウズベキスタンの現代建築(情報てんこもりラジオでDON)  
ウズベキスタンの建築・文化紹介 香川大博物館第1回企画展  
ウズベキスタンの建築を紹介(ゆうどき香川ニュース610)  
生活彩る小物紹介 香川大博物館 ウズベキスタン展  
四国ミュージアム回廊 香川大学博物館 人工衛星STARSいよいよ宇宙へ  
「ウズベキスタンの現代建築と世界遺産」展について  
ウズベキスタン建築 伝統と華麗 香川大博物館が企画展  
春オープン!! 香川大学博物館でいろいろな発見を楽しもう!!  
香川大博物館「ウズベキスタンの現代建築と世界遺産」展を開催  
安井行雄第2回企画展実行委員長(ミュージック・イン・ランチボックス)  
世界の昆虫展(ゆうどき香川ニュース610 他)  
「香川大学博物館」図書館帰りや下校途中にふらっと立ち寄れる博物館  
香川大学博物館「昆虫のふしぎ」展(786・SUPER MEDIO)  
珍しい昆虫いっぱい  
「昆虫のふしぎ」展について  
一日一言「香大博物館の昆虫展」  
擬態昆虫不思議の世界 香川大博物館 標本670点展示  
「昆虫のふしぎ」展について(PEPTV〜地域密着情報系〜)  
香川大博物館の出展協力者に感謝状贈呈  
香川大学のお宝を見て、研究の成果を知ろう!!  
大昔の瀬戸内海は陸だった!

2009  
(平成21)  
年度

2009年5月1日 かがわ探検ミュージアム(14頁)  
2009年5月23日 リビングたかまつ(13面)  
2009年7月23日 RNC西日本放送  
2009年7月23日 KSB瀬戸内海放送  
2009年8月1日 NHK高松放送局  
2009年8月2日 産経新聞(24面)  
2009年8月28日 FM香川  
2009年9月3日 朝日小学生新聞(3面)

大昔の瀬戸内海は陸だった!  
第2土曜は1日香川大生「ミュージアム・レクチャー」始まりました  
瀬戸内海の生き物と先端技術に触れる 香川大学で企画展(RNC News リアルタイム)  
「瀬戸内の海・干潟・海浜の生き物」展(岡山・香川のニュース)  
瀬戸内海が育む命(ゆうどき香川ニュース610 他)  
企画展「瀬戸内の海・干潟・海浜の生き物」香川大学博物館  
「瀬戸内の海・干潟・海浜の生き物」展について(786・SUPER MEDIO)  
大学の博物館「香川大学博物館」標本・資料紹介 地域にちなむ企画

## 報道状況

2010  
(平成22)  
年度

2010年7月23日 NHK高松放送局  
2010年8月19日 FM香川  
2010年10月1日 文教速報(10面)  
2010年10月28日 NHK高松放送局  
2010年11月8日 山陽新聞(21面)  
2010年11月11日 四国新聞(22面)  
2010年12月7日 四国新聞(24面)  
2010年12月15日 NHK高松放送局  
2011年1月1日 読売新聞(36面)  
2011年1月10日 朝日新聞(17面)

アリの生態を紹介(645かがわ 他)  
香川大学博物館 第5回企画展「アリの世界」(786・SUPER MEDIO)  
香川大学博物館で企画展「アリの世界～〇〇してみる研究室～」  
四国遍路の資料展(ゆう6かがわ 他)  
四国遍路往時に光 江戸期から昭和初期 指南書や納経帳展示  
四国遍路の足跡探る 香大で資料展 納経帳や道案内書330点  
「はやぶさ」高松で公開 来年10月22、23日  
「はやぶさカプセル」香川大で展示へ(ゆう6かがわ 他)  
「はやぶさ」カプセル展示 10月香川大 本体やパラシュート  
「はやぶさ」の旅 香川でも カプセル、10月に香川大博物館で展示

2011  
(平成23)  
年度

2011年6月25日 NHK高松放送局  
2011年6月29日 四国新聞(28面)  
2011年7月4日 NHK高松放送局  
2011年7月16日 リビングたかまつ(12面)  
2011年7月23日 NHK高松放送局  
2011年9月30日 文教速報(13頁)  
2011年10月1日 リビングたかまつ(3面)  
2011年10月4日 FM香川  
2011年10月15日 FM815  
2011年10月19日 KSB瀬戸内海放送  
2011年10月19日 RNC西日本放送  
2011年10月20日 朝日新聞(35面)  
2011年10月20日 読売新聞(34面)  
2011年10月20日 山陽新聞(26面)  
2011年10月20日 KSB瀬戸内海放送  
2011年10月20日 NHK高松放送局  
2011年10月20日 OHK岡山放送  
2011年10月21日 四国新聞(21面)  
2011年10月21日 日本経済新聞(33面)  
2011年10月21日 毎日新聞(25面)  
2011年10月21日 産経新聞(22面)  
2011年10月22日 FM815  
2011年10月22～28日 高松ケーブルテレビ  
2011年10月23日 朝日新聞(30面)  
2011年10月23日 四国新聞(23面)  
2011年10月31日 朝日新聞(27面)  
2012年2月16日 朝日新聞(31面)  
2012年3月17日 OHK岡山放送  
2012年3月19日 KSB瀬戸内海放送

大学生のコレクション展(ゆう6かがわ 他)  
第3回マイミュージアム展  
マイミュージアム展(ゆう6かがわ)  
第7回企画展「おいしいお肉の向こうには…」  
鶏肉と卵をもっと知って(ニュース 他)  
香川大学博物館が企画展「おいしいお肉の向こうには」  
7年間、60億kmの宇宙の旅を終えた小惑星探査機「はやぶさ」帰還カプセル展  
第8回企画展(786 SUPER MEDIO)  
第8回企画展(みっちゃんのおべらだへい好き)  
あすから「はやぶさ」帰還展(スーパー Jチャンネル)  
「はやぶさ」香川に!あすから公開帰還展(RNC news every.)  
60億キロの旅 きょうから「帰還展」はやぶさの夢 届く カプセルや模型、7点  
「はやぶさ」ってすごい 内覧会で児童ら感激 きょうから 香川大でカプセル、模型展示  
「勇姿」を県内初公開 小惑星探査機「はやぶさ」きょうから香川大博物館 カプセルや電子機器展示  
小惑星探査機「はやぶさ」一般公開(KSBスーパー Jチャンネル)  
小惑星探査機「はやぶさ」帰還カプセル展(ゆう6かがわ)  
宇宙から帰還「はやぶさ」が香川へ(OHKスーパーニュース)  
「はやぶさ」カプセルで初公開 香川大学博物館 親子ら宇宙ロマンに浸る  
「はやぶさ」展示始まる  
実物「はやぶさ」カプセルを展示 香川大博物館  
「はやぶさ」の帰還カプセル 香川大学博物館で展示  
第8回企画展(みっちゃんのおべらだへい好き)  
小惑星探査機「はやぶさ」帰還カプセル展  
はやぶさの夢 300人感動「帰還展」特別講演  
小惑星イトカワ探査の苦労語る 吉川氏、香川大で講演  
はやぶさ展企画 大成功(讃岐ひと模様)  
南極の岩石香川大に 第1次観測隊の2個、寄贈  
香川大学「希少糖」の研究成果を発表(OHKスーパーニュース)  
希少糖研究“生産装置”を展示(KSBスーパー Jチャンネル)

2012  
(平成24)  
年度

2012年4月1日 ライト&ライフ(4頁)  
2012年5月18日 四国新聞(23面)  
2012年6月18日 OHK岡山放送  
2012年6月19日 KSB瀬戸内海放送  
2012年6月20日 朝日新聞(33面)  
2012年6月26日 四国新聞(24面)  
2012年6月29日 毎日新聞(25面)  
2012年7月19日 四国新聞(26面)  
2012年8月4日～10日 高松ケーブルテレビ  
2012年8月23日 朝日新聞(13面)  
2012年8月25日 RNC西日本放送  
2012年12月16日 読売新聞(33面)  
2013年3月2日 リビングたかまつ(3面)  
2013年3月6日 NHK高松放送局  
2013年3月7日 NHK高松放送局  
2013年3月7日 四国新聞(24面)  
2013年3月7日 KSB瀬戸内海放送  
2013年3月8日 NHK高松放送局  
2013年3月8日 読売新聞(31面)  
2013年3月8日 産経新聞(24面)  
2013年3月15日 RNC西日本放送  
2013年3月16日 朝日新聞(35面)

「特集」大学へ行こう!香川大学 図書館や博物館など日常的な活用が可能  
はやぶさカプセル展に貢献 宇宙少年団に感謝状 香川大  
第4回マイミュージアム展(OHKスーパーニュース)  
学生が自由に展示「マイミュージアム」(KSBスーパー Jチャンネル)  
私のお気に入り 見て  
第4回マイミュージアム展  
思い思い「私設博物館」  
第9回企画展「ジオの世界」  
第9回企画展「ジオの世界」  
砂の中に「宝石」キラリ 香川大学博物館鉱物探体験  
第9回企画展「ジオの世界」  
ガリレオの驚き体験 高松、宇宙科学教室  
香川大学博物館 開館5周年記念特別展「フクイサウルスがやってきた!～骨から学ぶ生物進化～」  
香川大学博物館 開館5周年記念特別展(ゆう6かがわ)  
恐竜「フクイサウルス」特別展(ゆう6かがわ 他)  
香川大学博物館 開館5周年記念特別展  
香川に恐竜がやって来た(KSBスーパー Jチャンネル)  
香川大学博物館 開館5周年記念特別展(ゆう6かがわ)  
福井の恐竜 香大に“上陸”博物館 骨格標本など特別展  
フクイサウルスがやってきた!開館5周年の香川大博物館 恐竜の骨格標本展示  
香川大学博物館 入場無料の恐竜展(RNC news every.)  
骨格標本で進化の軌跡 香川大学博物館 恐竜・スナメリなど6体展示

2013  
(平成25)  
年度

2013年4月2日 NHK高松放送局  
2013年4月2日 RSK山陽放送  
2013年4月9日 朝日新聞(29面)  
2013年4月19日 科学新聞(2面)  
2013年4月23日 四国新聞(19面)  
2013年5月13日 文教ニュース(48頁)

ミュージアムナビ「フクイサウルスがやってきた!～骨から学ぶ生物進化～」(ゆう6かがわ)  
香川大博物館 恐竜「フクイサウルス」展示(RSKイブニングニュース 他)  
平成25年度科学技術分野文部科学大臣表彰  
科学技術賞 理解増進部門  
香川大学博物館長ら5人に科学技術賞  
香川大学博物館長ら平成25年度科学分野の文部科学大臣表彰受賞



2013年5月17日	文教速報(7面)	香川大博物館長らが科学分野の文科学大臣表彰を受賞
2013年6月21日	NHK高松放送局	香川大で「マイミュージアム展」(ひるまえかがわ)
2013年6月28日	KSB瀬戸内海放送	香川大学第5回「マイミュージアム展」(KSBスーパー Jチャンネル)
2013年7月19日	四国新聞(30面)	企画展「讃岐のため池香川大学博物館でそーとのぞいて見てみよう」
2013年7月	かがアド18号(4頁)	「香川大学博物館」未来の自分は好奇心の先に
2013年8月3日	リビングたかまつ(11面)	「讃岐のため池そーとのぞいて見てみよう」展
2013年8月23日	NHK高松放送局	香川大博物館ため池展でミニ工事体験開催(ひるまえかがわ・ゆう6かがわ)
2013年10月4日	文教速報(11面)	「讃岐のため池」香川大博物館が企画展
2014年2月16日	読売新聞(24面)	「ロシア隕石」3点高松へ 昨年落下 来月、3か所で展示
2014年2月22日	毎日新聞(25面)	ロシアに大被害 高松で隕石公開 四国初 来月1日から
2014年3月1日	リビングたかまつ(10面)	講演「3D and Finland ～北欧の妖精ムーミントロールの立体映像が生まれるまで～」
2014年3月7日	朝日新聞(28面)	イベントガイド「香川大博物館特別講演会『3D and Finland 北欧の妖精、ムーミントロールの立体映像が生まれるまで』」
2014年3月7日	四国新聞(26面)	週末イベントガイド「春の特別展『時代を駆け抜けた銀塩カメラ—フィルムカメラ40台の展示—』」
2014年3月7日	四国新聞(26面)	週末イベントガイド「香川大博物館特別講演会」
2014年3月7日	四国新聞オアシス(15面)	イベント情報「時代を駆け抜けた銀塩カメラ—フィルムカメラ40台の展示—」
2014年3月7日	朝日新聞(28面)	イベント情報「3D and Finland—北欧の妖精、ムーミントロールの立体映像が生まれるまで—」
2014年3月27日	KSB瀬戸内海放送	時代を駆け抜けたフィルムカメラの展示会(KSBスーパー Jチャンネル)

## 2014 (平成26) 年度

2014年7月22日	NHK高松放送局	“昆虫に迫る”展示会(NHK各地のニュース・ゆう6かがわ)
2014年8月8日	NHK高松放送局	香川大博物館「昆虫の色とカタチ展」(週末情報)
2014年9月25日	四国新聞(17面)	木曜倶楽部「教授を魅了した大地の結晶 北川隆司鉱物コレクション」
2014年9月26日	四国新聞オアシス(5面)	イベント情報「教授を魅了した大地の結晶(はな)—北川隆司鉱物コレクション—」
2014年9月30日	香川大学環境報告書2014	夏休みの企画展「讃岐のため池そーとのぞいて見てみよう」(p.22)
2014年10月28日	四国新聞(23面)	自然の造形美来場者見入る 香川大学博物館で鉱物展
2014年11月12日	NHK高松放送局	屋島の自然紹介する展示会(NHK各地のニュース・ゆう6かがわ)
2014年11月13日	読売新聞(33面)	屋島の歴史、自然知って
2014年11月30日	KSB瀬戸内海放送	宇宙に興味を 科学体験教室(ANNニュース)
2014年11月30日	RNC西日本放送	香川大学 親子で学ぶ宇宙科学教室(RNC Just News)
2014年12月1-7日	高松ケーブルテレビ	ディスカバリーキッズ科学実験館(ニュースの時間です。)
2014年12月7日	朝日新聞(32面)	国史跡「屋島」高松で企画展 自然・歴史テーマに
2014年12月14日	四国新聞(17面)	香川知ってるつもり? 最古の○○ 番外編 奈良時代末～平安初期 足跡、
2015年2月4日	文教速報(15頁)	香川大博物館、市歴史資料館と企画展を共同開催

## 2015 (平成27) 年度

2015年7月24日	四国新聞オアシス	企画展「カメの不思議」
2015年7月30日	NHK高松放送局	カメの剥製や標本など紹介(ゆう6かがわ他)
2015年8月14日	四国新聞オアシス(12面)	兵庫県立人と自然の博物館移動博物館車「ゆめはく」
2015年8月15日	RNCラジオ	企画展「カメの不思議」(さいむす2☆ぼっ)
2015年9月30日	香川大学環境報告書2015	屋島の自然と景観(p.9)
2015年9月30日	香川大学環境報告書2015	くらべて発見!!昆虫の色とカタチ展(p.11)
2015年10月14日	RNCラジオ	企画展「アートコレクション展」(さいむす2☆ぼっ)
2015年10月23日	朝日新聞(30面)	香川大博物館第16回企画展「アートコレクション展」(イベントガイド)
2015年10月28日	NHK高松放送局	香川大美術教員の作品を展示(ゆう6かがわ他)
2015年10月30日	四国新聞オアシス(14面)	アートコレクション展 —香川大学の前身校から現在までの美の系譜—
2015年11月4日	FM高松	アートコレクション展(STEP!!)
2015年11月7日	リビングたかまつ(10面)	アートコレクション展
2015年11月11日	日本経済新聞(39面)	アートコレクション展(カルチャーガイド)
2015年11月12日	四国新聞(15面)	教育現場の美の系譜 歴代教授の絵画や書など(木曜倶楽部)
2016年2月20日	RNCラジオ	かがわ子ども大学香川大学キャンパス(さいむす2☆ぼっ)



2014年3月27日 KSB瀬戸内海放送  
「時代を駆け抜けたフィルムカメラの展示会」の取材を受ける鈴木桂輔工学部准教授



2014年11月12日 NHK高松放送局  
「屋島の自然紹介する展示会」の取材を受ける寺林 優博物館長

# 組織

2006 (平成18) 年度

図書館・情報機構長 前田 肇 学術担当理事・副学長  
代表 岡野 眞 工学部教授  
事務補佐員 西浦 敦子 (～2006.8.31)  
事務補佐員 黒瀬由美子 (2006.9.1～)

## 博物館委員会

工学部・委員長	教 授	岡野 眞
教育学部	教 授	末廣喜代一
教育学部	講 師	松下 幸司
経済学部	教 授	丹羽 佑一
経済学部	教 授	稲田 道彦
連合法務研究科	教 授	高橋 正俊
医学部	助教授	村主 節雄
医学部	技 官	永田 若
工学部	教 授	伊藤 寛
工学部	助教授	寺林 優
農学部	教 授	市川 俊英
農学部	教 授	伊藤 文紀
生涯学習教育研究センター	助教授	山本 珠美

2007 (平成19) 年度

図書館・情報機構長 前田 肇 学術担当理事・副学長  
館長 丹羽 佑一 経済学部教授  
副館長 (研究担当) 寺林 優 工学部准教授  
副館長 (資料担当) 市川 俊英 農学部教授  
事務補佐員 大谷亜樹子  
事務補佐員 倉橋 伴知

## 博物館会議

博物館	館 長	丹羽 佑一
工学部	副館長 (研究担当)	寺林 優
農学部	副館長 (資料担当)	市川 俊英
教育学部	教 授	末廣喜代一
教育学部	教 授	葛西 崇
教育学部	准教授	松下 幸司
経済学部	教 授	稲田 道彦
経済学部	教 授	姚 峰
法学部	教 授	飯島 暢
連合法務研究科	教 授	高橋 正俊
地域マネジメント研究科	教 授	緒方 俊則
医学部	教 授	西山 成
医学部	技術職員	永田 若
工学部	教 授	岡野 眞
農学部	准教授	安井 行雄
生涯学習教育研究センター	准教授	山本 珠美
情報図書グループ	リーダー	吉見 賢一

2008 (平成20) 年度

図書館・情報機構長 前田 肇 学術担当理事・副学長  
館長 丹羽 佑一 経済学部教授  
副館長 (研究担当) 寺林 優 工学部准教授  
副館長 (資料担当) 伊藤 文紀 農学部教授  
事務補佐員 大谷亜樹子  
事務補佐員 倉橋 伴知

## 博物館会議

博物館	館 長	丹羽 佑一
工学部	副館長 (研究担当)	寺林 優
農学部	副館長 (資料担当)	伊藤 文紀
教育学部	教 授	末廣喜代一
教育学部	教 授	田中 健二
教育学部	准教授	松下 幸司
経済学部	教 授	稲田 道彦
経済学部	教 授	金 徳謙
法学部	准教授	岸野 薫
連合法務研究科	教 授	高橋 正俊
地域マネジメント研究科	教 授	畑中 和義
医学部	教 授	村主 成
医学部	助 教	松本 由樹
医学部	技術職員	永田 若
工学部	教 授	岡野 眞
農学部	准教授	安井 行雄
生涯学習教育研究センター	准教授	山本 珠美
情報図書グループ	リーダー	吉見 賢一

2009 (平成21) 年度

図書館・情報機構長 前田 肇 学術担当理事・副学長  
館長 丹羽 佑一 経済学部教授  
副館長 (研究担当) 寺林 優 工学部准教授  
副館長 (資料担当) 伊藤 文紀 農学部教授  
事務補佐員 大谷亜樹子  
事務補佐員 倉橋 伴知 (～2009.9.30)  
事務補佐員 鳥山さやか (2009.10.21～)

## 博物館会議

博物館	館 長	丹羽 佑一
工学部	副館長 (研究担当)	寺林 優
農学部	副館長 (資料担当)	伊藤 文紀
教育学部	教 授	末廣喜代一
教育学部	教 授	田中 健二
教育学部	准教授	松下 幸司
経済学部	教 授	稲田 道彦
経済学部	准教授	松岡 久美
法学部	准教授	岸野 薫
連合法務研究科	教 授	柴田 潤子
地域マネジメント研究科	教 授	畑中 和義
医学部	助 教	田中 澄子
医学部	講 師	松本 由樹
医学部	技術職員	永田 若
工学部	教 授	岡野 眞
農学部	准教授	安井 行雄
生涯学習教育研究センター	准教授	山本 珠美
情報図書グループ	リーダー	北條 充敏

2010 (平成22) 年度

図書館・情報機構長 柴田 昭二 情報担当副学長  
館長 丹羽 佑一 経済学部教授  
副館長 (研究担当) 寺林 優 工学部准教授 (教授2011.1.1～)  
副館長 (資料担当) 伊藤 文紀 農学部教授  
事務補佐員 大谷亜樹子  
事務補佐員 鳥山さやか (～2010.9.17)  
事務補佐員 藤城 早希 (2010.10.1～)

## 博物館会議

博物館	館 長	丹羽 佑一
工学部	副館長 (研究担当)	寺林 優
農学部	副館長 (資料担当)	伊藤 文紀
教育学部	教 授	末廣喜代一
教育学部	教 授	田中 健二
教育学部	准教授	松下 幸司
経済学部	教 授	稲田 道彦
経済学部	准教授	松岡 久美
法学部	准教授	吉井 匡
連合法務研究科	教 授	柴田 潤子
地域マネジメント研究科	教 授	畑中 和義
医学部	助 教	田中 澄子 (～2010.8.31)
医学部	助教・学内講師	松本 由樹
医学部	技術職員	永田 若
工学部	教 授	岩本 直樹
農学部	准教授	安井 行雄
農学部	助 教	松本 由樹 (2010.9.1～)
生涯学習教育研究センター	准教授	山本 珠美
情報図書グループ	リーダー	北條 充敏

2011 (平成23) 年度

図書館・情報機構長 柴田 昭二 情報担当副学長 (～2011.9.30)  
図書館・情報機構長 阪本 晴彦 情報担当副学長 (2011.10.1～)  
館長 寺林 優 工学部准教授  
副館長 (研究担当) 山本 珠美 生涯学習教育研究センター准教授  
副館長 (資料担当) 伊藤 文紀 農学研究院教授  
事務 片山 恒信 情報図書グループサブリーダー  
事務補佐員 大谷亜樹子  
事務補佐員 藤城 早希

## 博物館会議

議長	館 長	寺林 優
生涯学習教育研究センター	副館長 (研究担当)	山本 珠美
農学研究院	副館長 (資料担当)	伊藤 文紀
アーツ・サイエンス研究院	教 授	丹羽 佑一
アーツ・サイエンス研究院	教 授	王 維
教育学研究院	教 授	松村 雅文
教育学研究院	准教授	古草 敦史
教育学研究院	准教授	松下 幸司
経済学研究院	准教授	神吉 直人 (～2011.7.12)
経済学研究院	准教授	金澤 忠信 (2011.7.13～)
法学研究院	教 授	馬淵 勉
医学研究院	助 教	田中 澄子
医学研究院	技術職員	永田 若
工学研究院	教 授	岩本 直樹
工学研究院	講 師	守屋 均
農学研究院	准教授	安井 行雄
農学研究院	助 教	松本 由樹
情報図書グループ	リーダー	北條 充敏



2012 (平成24) 年度

図書館・情報機構長 阪本 晴彦 情報担当副学長  
館長 寺林 優 工学研究院教授  
副館長 (資料担当) 伊藤 文紀 農学研究院教授  
事務 片山 恒信 情報図書グループサブリーダー  
事務補佐員 ルーツ由佳

博物館会議  
議長 館長 寺林 優  
農学研究院 副館長 (資料担当) 伊藤 文紀  
アーツ・サイエンス研究院 教授 寺尾 徹  
教育学研究院 教授 松村 雅文  
教育学研究院 教授 古草 敦史  
教育学研究院 准教授 松下 幸司  
法学研究院 教授 馬淵 勉  
経済学研究院 教授 丹羽 佑一  
経済学研究院 准教授 神吉 直人 (2012.10.1～)  
医学研究院 助教 田中 澄子  
医学部 技術職員 永田 若  
工学研究院 教授 岩本 直樹  
工学研究院 講師 守屋 均  
農学研究院 准教授 安井 行雄  
農学研究院 助教 松本 由樹 (准教授 2012.11.1～)  
大学教育開発センター 准教授 岩中 貴裕  
情報図書グループ リーダー 北條 充敏

2014 (平成26) 年度

情報担当副学長 寛 善行 工学部教授  
館長 寺林 優 教育学部教授  
副館長 (研究担当) 寺尾 徹 農学部教授  
副館長 (資料担当) 伊藤 文紀 情報図書グループサブリーダー  
事務 岩澤 尚子  
事務補佐員 ルーツ由佳

博物館会議  
議長 館長 寺林 優  
教育学部 副館長 (研究担当) 寺尾 徹  
農学部 副館長 (資料担当) 伊藤 文紀  
教育学部 教授 古草 敦史  
教育学部 准教授 松下 幸司  
教育学部 准教授 松本 一範  
教育学部 准教授 篠原 涉  
法学部 教授 金子 太郎  
連合法務研究科 教授 馬淵 勉  
経済学部 教授 井上 貴照  
経済学部 教授 小宮 一高  
地域マネジメント研究科 准教授 大北 健一  
医学部 准教授 新井 明治  
医学部 技術職員 永田 若  
工学部 准教授 石原 秀則  
工学部 講師 守屋 均  
農学部 准教授 松本 由樹  
農学部 准教授 安井 行雄  
大学教育開発センター 准教授 岩中 貴裕  
情報図書グループ リーダー 北條 充敏

2013 (平成25) 年度

情報担当副学長 阪本 晴彦 工学部教授  
館長 寺林 優 教育学部教授  
副館長 (研究担当) 寺尾 徹 農学部教授  
副館長 (資料担当) 伊藤 文紀 情報図書グループサブリーダー  
事務 岩澤 尚子  
事務補佐員 ルーツ由佳

博物館会議  
議長 館長 寺林 優  
教育学部 副館長 (研究担当) 寺尾 徹  
農学部 副館長 (資料担当) 伊藤 文紀  
教育学部 教授 古草 敦史  
教育学部 准教授 松下 幸司  
教育学部 准教授 松本 一範  
教育学部 准教授 篠原 涉  
法学部 准教授 村田 大樹  
連合法務研究科 教授 馬淵 勉  
経済学部 教授 高橋 明郎  
経済学部 准教授 宮脇 秀貴  
地域マネジメント研究科 准教授 大北 健一  
医学部 准教授 新井 明治  
医学部 技術職員 永田 若  
工学部 准教授 石原 秀則  
工学部 講師 守屋 均  
農学部 准教授 松本 由樹  
農学部 准教授 安井 行雄  
大学教育開発センター 准教授 岩中 貴裕  
情報図書グループ リーダー 北條 充敏

2015 (平成27) 年度

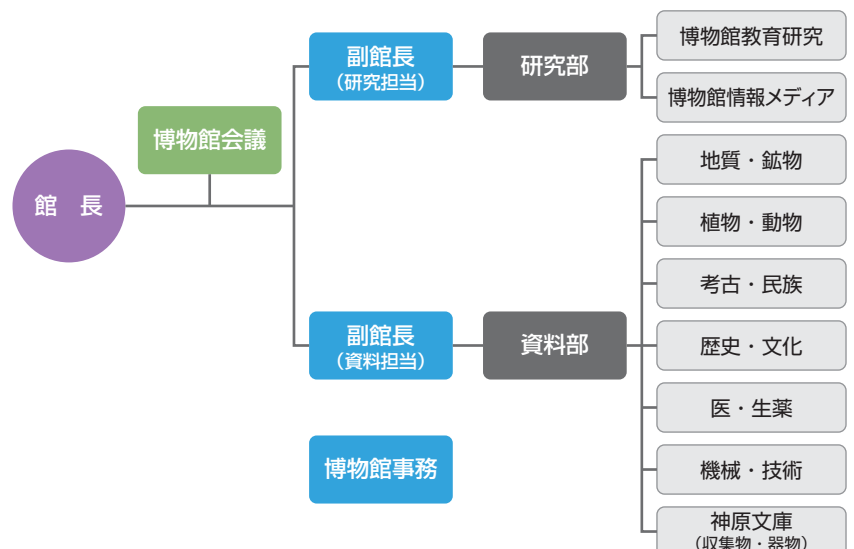
情報担当副学長 寛 善行 (～2015.9.30)  
情報・学術担当副学長 吉田 秀典 (2015.10.1～)  
館長 寺林 優 工学部教授  
副館長 (研究担当) 寺尾 徹 教育学部教授  
副館長 (資料担当) 伊藤 文紀 農学部教授  
事務 白井 修 情報図書グループサブリーダー  
事務補佐員 ルーツ由佳 (～2015.4.30)  
事務補佐員 井上 幸恵 (2015.5.1～2015.12.25)

博物館会議  
議長 館長 寺林 優  
教育学部 副館長 (研究担当) 寺尾 徹  
農学部 副館長 (資料担当) 伊藤 文紀  
教育学部 准教授 篠原 涉  
法学部 教授 金子 太郎  
連合法務研究科 教授 和食 俊朗  
経済学部 准教授 山本 裕  
地域マネジメント研究科 准教授 大北 健一  
医学部 准教授 新井 明治  
工学部 准教授 石原 秀則  
農学部 准教授 松本 由樹  
情報図書グループ リーダー 北條 充敏

## ● 管理・運営

管理・運営に当たっては従来の施設を最大限活用し、最小限の維持管理費を目論む。図書館、生涯学習教育研究センター、地域連携戦略室、広報室など既存の施設・組織との連携をはかる。「香川大学博物館規程」に定められた「博物館会議」が運営にあたる。管理者が不在となった標本・資料の受け入れは、資料部主任会議でその是非を検討し、博物館会議で審議する。

## ● 組織図



# 規程

## ○香川大学博物館規程

平成19年4月1日

(趣旨)

第1条 この規程は、国立大学法人香川大学組織規則第17条第3項の規定に基づき、香川大学博物館(以下「博物館」という。)に関し必要な事項を定める。

(目的)

第2条 博物館は、香川大学(以下「本学」という。)の学術標本資料の収蔵・管理・展示、公開及び学術標本資料に関する教育研究支援を行うとともに、学内外の教育研究活動に寄与することを目的とする。

(業務)

第3条 博物館は、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 学術標本資料の調査・収集・分類・保存及びその利用に関すること。
- (2) 学術標本資料の解析及び学術評価に関すること。
- (3) 学術標本資料の情報化に関すること。
- (4) その他博物館の目的を達成するために必要なこと。

(組織)

第4条 博物館に、研究部及び資料部を置く。

2 研究部及び資料部に関し必要な事項は別に定める。

(博物館会議)

第5条 博物館の円滑な運営を図るため、香川大学博物館会議(以下「博物館会議」という。)を置く。

2 博物館会議に関し必要な事項は、別に定める。

(職員)

第6条 博物館に次の各号に掲げる職員を置く。

- (1) 館長
- (2) 副館長(研究担当)
- (3) 副館長(資料担当)
- (4) 兼務職員
- (5) その他の職員

(館長)

第7条 館長の任命は、学長が指名する理事又は副学長が本学の専任教

授の中から推薦し、学長が行う。

2 館長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、任期の末日は、当該館長を任命する学長の任期の末日以前とする。

3 前項の規定にかかわらず、館長が辞任をした場合又は欠員となった場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(副館長)

第8条 副館長の任命は、本学の専任教員の中から館長の申し出に基づき、学長が行う。

2 前項の申出は、博物館会議が選考した候補者を推薦することにより行う。

3 副館長は、館長の職務を助け、博物館の業務を処理する。

4 副館長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、副館長が辞任をした場合又は欠員となった場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(兼務職員)

第9条 博物館に、本学の学術標本資料の調査・収集・分類・保存のため、及び学術標本資料を用いた教育・研究のため兼務職員を置く。

2 兼務職員の任期は2年とし、再任を妨げない。

3 兼務職員は、学内から選出するものとし、所属部局等の長の同意を経て、館長が委嘱する。

(学外協力者)

第10条 博物館に、学外協力者を置くことができる。

2 学外協力者は、博物館会議の議を経て、館長が委嘱する。

(事務)

第11条 博物館の事務は、当分の間、学術・地域連携推進室情報図書グループにおいて処理する。

(雑則)

第12条 この規程に定めるもののほか、博物館に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

1 この規程は、平成25年4月1日から施行する。

2 この規程の施行の際、現に館長である者の任期は、第7条第2項の規定にかかわらず、平成25年9月30日までとする。

附 則

この規程は、平成27年11月1日から施行する。

## ○香川大学博物館研究部規程

平成19年7月10日

(趣旨)

第1条 この規程は、香川大学博物館規程第4条第2項の規定に基づき、香川大学博物館研究部(以下「研究部」という。)の組織及び運用に関し必要な事項を定める。

(目的)

第2条 研究部は、香川大学博物館の目的を達成するため、学術標本資

料の解析及び学術評価を行うとともに、その情報化に関する教育及び研究の進展を図ることを目的とする。

(組織)

第3条 研究部に、博物館教育研究及び博物館情報メディア研究の分野を置く。

(研究部会議)

第4条 研究部に学術標本資料の活用等に関する事項を審議するため、研究部会議を置く。

2 研究部会議の運営に関し必要な事項は、別に定める。

(事務)

第5条 研究部の事務は、当分の間、学術・地域連携推進室情報図書グループにおいて処理する。

(雑則)

第6条 この規程に定めるもののほか、研究部に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成19年7月10日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年11月1日から施行する。

## ○香川大学博物館資料部規程

平成19年7月10日

(趣旨)

第1条 この規程は、香川大学博物館規程第4条第2項の規定に基づき、香川大学博物館資料部(以下「資料部」という。)の組織及び運用に関し必要な事項を定める。

(目的)

第2条 資料部は、香川大学博物館の目的を達成するため、学術標本資料の調査・収集・分類・保存を行うとともに、その利用に関する教育及び研究を補助し、その進展を図ることを目的とする。

(組織)

第3条 資料部に地質・鉱物、植物・動物、考古・民族・歴史・文化・医・生薬、機械・技術、神原文庫(収集物・器物等)の専門分野を置く。

(分野主任)

第4条 各専門分野に分野主任を置く。

2 分野主任は、当該分野に関係のある兼任教員をもって充てる。

3 分野主任の選出は、各分野の推薦に基づき、館長が委嘱する。

4 分野主任は、各分野における学術標本の管理、運用の取りまとめを行う。

5 分野主任の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の補欠の分野主任の任期は前任者の残任期間とする。なお、再任を妨げない。

(主任会議)

第5条 資料部に学術標本の管理・運用に関わる諸事項および各分野間の連絡調整を計るため、主任会議を置く。

2 主任会議の運営に関し必要な事項は、別に定める。

(事務)

第6条 資料部の事務は、当分の間、学術・地域連携推進室情報図書グループにおいて処理する。

(雑則)

第7条 この規程に定めるもののほか、資料部に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成19年7月10日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年11月1日から施行する。

## ○香川大学博物館会議規程

平成19年4月1日

(趣旨)

第1条 この規程は、香川大学博物館規程第5条第2項の規定に基づき、香川大学博物館会議(以下「博物館会議」という。)に関し、必要な事項を定める。

(任務)

第2条 博物館会議は、香川大学博物館(以下「博物館」という。)に関し、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 博物館の運営に関する事項
- (2) 博物館資料の運用及び整備に関する事項
- (3) その他博物館の管理運営に関して必要とする事項

(組織)

第3条 博物館会議は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 館長
- (2) 副館長(研究担当)
- (3) 副館長(資料担当)
- (4) 各学部から選出された教員各1人
- (5) 香川大学・愛媛大学連合法務研究科及び地域マネジメント研究



- 科から選出された教員1人
- (6) 情報図書グループリーダー
- (7) その他館長が必要と認めた者
- 2 前項第4号から第6号までの委員数において、副館長が任命された部局等はその副館長を選出された委員数に含める。
- 3 第1項第4号から第6号まで及び第8号の委員は、それぞれの部局等の長の推薦に基づき、学長が任命する。
- 4 第1項第4号から第6号まで及び第8号の委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、委員に欠員が生じたときの補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- (議長)
- 第4条 博物館会議に議長を置き、館長をもって充てる。
- 2 議長は、博物館会議を招集し、主宰する。
- 3 議長に事故があるときは、議長の予め指名した副館長がその職務を代行する。
- (議事)
- 第5条 博物館会議は、委員の過半数の出席がなければ、議事を開くことができない。
- 2 議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- (委員以外の者の出席)
- 第6条 博物館会議は、必要があるときは、委員以外の者の出席を求めて意見を聴くことができる。
- (専門会議)
- 第7条 博物館会議は、専門の事項を検討するため、必要に応じて専門会議を置くことができる。
- 2 専門会議に関し必要な事項は、別に定める。
- (事務)
- 第8条 博物館会議の事務は、当分の間、学術・地域連携推進室情報図書グループにおいて処理する。
- (雑則)
- 第9条 この規程に定めるもののほか、博物館会議に関し必要な事項は、博物館会議が別に定める。
- 附 則
- この規程は、平成19年4月1日から施行する。
- 附 則
- この規程は、平成23年4月1日から施行する。
- 附 則
- この規程は、平成23年5月13日から施行し、平成23年4月1日から適用する。
- 附 則
- この規程は、平成25年4月1日から施行する。
- 附 則
- この規程は、平成27年4月1日から施行する。
- 附 則
- この規程は、平成27年11月1日から施行する。

## ○香川大学博物館利用規程

平成24年1月1日

- (趣旨)
- 第1条 この規程は、香川大学博物館規程第12条の規定に基づき、香川大学博物館（以下「博物館」という。）の利用に関し、必要な事項を定めるものとする。
- (利用者)
- 第2条 博物館を利用できる者（以下「利用者」という。）は、次の各号に掲げる者とする。
- (1) 本学の職員
  - (2) 本学の学生（研究生を含む。）
  - (3) 本学の名誉教授
  - (4) 本学に受け入れた各種研修員、研究員及び外国人研究者
  - (5) 本学の旧職員
  - (6) 本学の卒業生
  - (7) その他一般利用者
- 2 博物館は、必要があると認めたときには、利用者に対し身分証明書等の提示を求めることができる。
- (開館時間)
- 第3条 博物館の開館時間は、午前10時から午後4時までとする。
- 2 香川大学博物館長（以下「館長」という。）は、特別の事情がある場合においては、前項の開館時間を変更することができる。
- (休館日)
- 第4条 博物館の休館日は、次のとおりとする。
- (1) 日曜日及び月曜日
  - (2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
  - (3) 年末年始（12月28日から翌年の1月4日まで）
- 2 前項に定めるもののほか、館長が必要と認めたときは、臨時に休館又は開館することができる。
- (利用者の遵守事項)
- 第5条 利用者は、博物館の利用に当たって、次の各号を遵守しなければ

ばならない。

- (1) 他の利用者の迷惑にならないこと。
  - (2) 資料及び備品等を汚損及びき損しないこと。
  - (3) 館内で飲食しないこと。
  - (4) 許可なくして資料等の撮影をしないこと。
  - (5) その他博物館職員の指示に従うこと。
- (入館規律)
- 第6条 前条に反し、又は職員の指示に従わない者に対しては、博物館の入館に制限を加えることがある。
- (損害賠償の義務)
- 第7条 利用者は、故意又は重大な過失により資料及び備品等を汚損及びき損若しくは博物館の施設及び設備に損害を与えたときは、これを弁償しなければならない。
- (資料の寄贈)
- 第8条 博物館に資料を寄贈しようとする者は、寄贈申込書（別記様式第1号）により館長に申し出るものとする。
- 2 館長は、資料の寄贈を受けたときは、寄贈者に受領書（別記様式第2号）を交付するものとする。
- (資料の寄託)
- 第9条 博物館に資料を寄託しようとする者は、寄託申込書（別記様式第3号）を館長に提出し、その承認を得なければならない。
- (寄託資料等の取扱い)
- 第10条 館長は、前条の寄託資料及び所有者に出品を依頼した展示資料（以下「寄託資料等」という。）を受け入れたときは、当該所有者に預り証（別記様式第4号）を交付し、資料を返還するときは、預り証を引き替えに所有者に引き渡すものとする。
- 2 寄託資料等の保管は、無償とする。ただし、保管に特別の費用を要するものは、この限りでない。
- 3 寄託資料等の運搬費、展示費及び保存のために必要な修理費は、博物館においてその一部又は全部を負担することができる。
- (損害賠償の免責)
- 第11条 博物館は、寄託資料等が天災、火災その他避けられない事故によって汚損し、又は亡失した場合は、寄託者に対して補償の責めを負わない。
- (個人情報情報の漏えい防止)
- 第12条 資料等に記録されている個人情報については、国立大学法人香川大学の保有する個人情報の保護に関する規則及び国立大学法人香川大学の保有する個人情報の管理に関する規則の規定に準じて、その漏えい防止のための措置を講ずるものとする。
- (雑則)
- 第13条 この規則に定めるもののほか、博物館の利用に関し必要な事項は、館長が別に定める。

附 則

この規程は、平成24年1月1日から施行する。

## ○香川大学博物館学外協力者に関する申合せ

平成21年4月1日

(趣旨)

- 1 香川大学博物館（以下「本館」という。）の研究等の推進を図るため、香川大学博物館規程第10条第1項の規定に基づく学外協力者を置くときは、この申合せにより必要な事項を定める。
- (申込)
- 2 前項の学外協力者として本館における活動を行おうとする者がいる場合は、別記様式による申込書に所定の記載をさせ、館長へ提出させるものとする。
- (選考)
- 3 館長は、前項の申込書を提出した者を学外協力候補者として本館会議に推薦し、学外協力者の受入れ及び委嘱について選考する。
- (期間)
- 4 学外協力者の委嘱期間は2年とし、満了後の期間更新を妨げない。
- (経費)
- 5 学外協力者の受入れ及び本館における活動に要する経費は、すべて学外協力者の負担とする。ただし、ボランティア保険は、博物館が加入する。
- (活動内容)
- 6 学外協力者は、本館の職員と連携し、本館の標本の整理・保管、その標本に基づく研究等のための協力を行うものとする。
- (成果取扱い)
- 7 前項の活動成果の取扱いについては、当該研究データ等を公開する場合に館長の承諾がなければこれを行わない等、あらかじめ学外協力者からその旨を誓約させておくものとする。
- (その他)
- 8 この申合せに定めるもののほか、学外協力者に関して必要な事項は、本館会議が別に定める。

附 則

この申合せは、平成21年4月1日から適用する。

# The Kagawa University Museum

## 利用案内

- 開館時間 10:00～16:00
- 休館日 日曜日、月曜日、祝日／年末年始／大学入試センター試験／展示替えの期間等  
※オープンキャンパス、香川大学祭、未来からの留学生等の開催中は開館することがあります。  
※休館日の詳細についてはウェブサイトまたは電話でご確認ください。
- 入館料 無料

## 交通

### ■ JR高松駅から

【徒歩】18分(駅前広場地下にレンタサイクルあり)

#### 【ことでんバス】

下笠居線・香西線 高松駅バスターミナル②番のりば

〔11〕昭和町市図書館 弓弦羽

「幸町」下車 徒歩2分

〔13〕県庁・日赤前 宮脇町 弓弦羽

「宮脇町」下車 徒歩8分

〔15〕県庁・日赤前 宮脇町 香西車庫

「宮脇町」下車 徒歩8分

まちなかループバス 高松駅バスターミナル①番のりば

〔東廻り〕「香川大学教育学部前」下車 徒歩1分

〔西廻り〕「香川大学教育学部前」下車 徒歩2分

### ■ JR昭和町駅から

【徒歩】8分

### ■ ことでん瓦町駅から

【徒歩】23分(駅地下にレンタサイクルあり)

#### 【ことでんバス】

下笠居・高松西高線 瓦町駅前バスのりば③番のりば

〔21〕宮脇町・高松西高

「宮脇町」下車 徒歩8分

〔23〕弓弦羽

「宮脇町」下車 徒歩8分

まちなかループバス 瓦町駅東口バスのりば①番のりば

〔東廻り〕「香川大学教育学部前」下車 徒歩1分

〔西廻り〕「香川大学教育学部前」下車 徒歩2分

※駐車場がありませんので、公共交通機関もしくは  
周辺のコインパーキングなどをご利用ください。

### ■ アクセスマップ



### ■ 香川大学幸町北キャンパス



## 問い合わせ

- 住所：〒760-8521 香川県高松市幸町1-1
- TEL・FAX：087-832-1300
- E-mail：museum@ao.kagawa-u.ac.jp
- HP：http://www.museum.kagawa-u.ac.jp/

